愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理
1　収集……4
収集方針
収集委員会
美術品等収集状況　購入／寄贈／管理換え
所蔵作品全体の状況
美術品等取得基金について
新収蔵作品
収集作品一覧
寄託
2　保存……14
保存事業の実施状況
3　管理……16
所蔵作品の管理状況
作品の管理
作品の貸出
貸出の概要

展示・教育普及
1　コレクション展……17
展示の概要
コレクション展の開催状況と入場者数
コレクション展　展示作品リスト
APMoA Project, ARCH
移動美術館
サテライト展示
愛知県陶磁美術館における長期展示
復興支援展
2　企画展……30
企画展の入場者数
企画展の開催状況
3　関連事業
あいちトリエンナーレ2013
4　教育普及……37
教育普及事業の実施状況
出版・発行
講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等
各種教育プログラム
各種団体鑑賞への対応
美術館研修生の受け入れ指導
美術館友の会との協力
地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

調査研究……48

防災……51

ギャラリー（貸館）
美術館ギャラリー利用状況……52
利用団体一覧

組織および職員構成……55

関係委員会名簿……56

収集・保存・管理

1　収集

収集方針

・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
・現在を刻印するにふさわしい作品
・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
・上記の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員会名簿は56頁）

開催日：2013年12月12日

新収蔵品と収集の状況

上記の収集方針にそって12点の作品を購入し、34点の作品の寄贈を受け、合計46点の作品を新たに収集した。

美術品等収集状況

種別	購入		寄贈	管理換え
	点数	金額(円･税込)	点数	点数
日本画	0	0	1	0
洋画	3	9,922,500	24	0
立体	4	5,765,000	1	0
版画	2	8,705,000	5	0
水彩・素描	0	0	1	0
写真	1	4,450,000	0	0
インスタレーション	0	0	0	0
映像	2	2,940,000	1	0
工芸	0	0	0	0
資料	0	0	1	0
計	12	31,782,500	34	0

所蔵作品全体の状況（2014年３月末現在／単位：件）

区分		日本画	洋画	立体	版画	素描	映像	写真	工芸	書	ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ	資料	計
旧愛知県文化会館から引き継いだもの	購入	101	320	27	68	237	0	0	36	3	0	0	792
	寄贈	48	73	2	34	72	0	0	10	17	0	4	260
	計	149	393	29	102	309	0	0	46	20	0	4	1,052
美術館が収集したもの	購入	40	159	92	336	165	3	3	1	0	3	1	803
	寄贈	58	169	17	437	251	1	204	4	0	0	19	1,160
	管理換	9	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	16
	計	107	333	110	774	416	4	207	5	0	3	20	1,979
計	購入	141	479	119	404	402	3	3	37	3	3	1	1,595
	寄贈	106	242	19	471	323	1	204	14	17	0	23	1,420
	管理換	9	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	16
	計	256	726	139	876	725	4	207	51	20	3	24	3,031
藤井達吉コレクション	寄贈	愛知県文化会館が藤井達吉氏から寄贈を受けた美術工芸等											1,460
木村定三コレクション	寄贈	美術館が木村定三氏、美保子氏から寄贈を受けた美術品											3,290
総計													7,781

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館(現：愛知県陶磁美術館)が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として昭和63年４月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況（2014年３月末現在）

基金総額		117億1,603万3,038円
運用内訳	美術品	102億7,888万3,520円（1,435件）*
	現金	14億3,714万9,518円

＊内、美術館所蔵作品は761件

新収蔵作品

美術品等取得基金による購入は、1999 ～ 2001年度に原則凍結されたが、2002 ～ 2006年度には限定的ながらも凍結解除を受けて、現代の美術を中心にコレクション充実に努めた。2007 ～ 2009年度の 3 ヶ年で愛知県陶磁資料館（現：愛知県陶磁美術館）と合わせ 1 億 2 千万円（内、美術館 9 千万円）の基金執行が可能となり、2010 ～ 2012年度、2013 ～ 2015年度の各 3 ヶ年についても同様となっている。

2013年度に基金によって購入した作品は12件で、その中で今日の美術表現として重要性が増している映像作品や、また当館のコレクションを代表するクリムトの作品に関連するものとしてデューラーの銅版画やウィーン分離派展ポスターも購入した。このほか、作家やその遺族、収集家などから12作家34件の寄贈を受けた。

収集作品一覧

2013年度　収集作品一覧

1 洋画
鬼頭鍋三郎
手鏡を持つ裸婦
1930年
油彩、画布
163.3×131.0cm

KITO Nabesaburo
Nude with a Hand Mirror
1930
oil on canvas
163.3×131.0cm
JO201300001000

2 洋画
中西夏之
韻
1960年
ラッカー・エナメル・砂、合板
114.0×92.0cm

NAKANISHI Natsuyuki
Rhyme
1960
lacquer, enamel and sand on panel
114.0×92.0cm
JO201300020000

3 洋画
吉川民仁
対話
2010年
油彩、画布
227.4×162.0cm

YOSHIKAWA Tamihito
Dialogue
2010
oil on canvas
227.0×162.0cm
JO201300027000

4 彫刻・立体
青野文昭
なおす・代用・合体・侵入（震災後宮古で収集した衣料店床面／テーブル）2011
2011年
収集した床面の一部、テーブル、アクリル系絵具など
34.0×150.0×90.0cm

AONO Fumiaki
Repair/Substitute/Combine/Penetration
(Restored Table Picked Up in Miyako)
2011
2011
part of floorboard, table, acrylic paint, and other mixed media
34.0×150.0×90.0cm
JS201300001000

5 彫刻・立体
袴田京太朗
ハルガ
2008-09年
アクリル板、木製テーブル
197.0×145.0×105.0cm

HAKAMATA Kyotaro
Hulga
2008-09
colored acrylic, wooden table
197.0×145.0×105.0cm
JS201300002000

6 彫刻・立体
袴田京太朗
Inner Hulga
2011年
アクリル板
107.0×34.0×27.0cm

HAKAMATA Kyotaro
Inner Hulga
2011
colored acrylic
107.0×34.0×27.0cm
JS201300003000

7 彫刻・立体

原裕治

マンデリオン No.2

1997/2007年
樹脂、木
45.0×60.0×500.0cm

HARA Yuji
Mandelion No.2
1997/2007
resin on wood
45.0×60.0×500.0cm
JS201300004000

8 写真

志賀理江子

螺旋海岸

2009-12年
発色現像方式印画
25点組

SHIGA Lieko
Rasen Kaigan
2009-12
typeC print
Size B ed.1/3
JF201300001000

昏睡

2012年
69.0×90.0cm

Coma
2012
69.0×90.0cm
JF201300001001

いまださめぬ

2010年
100.0×180.0cm

still unconscious
2010
100.0×180.0cm
JF201300001002

誘導灯

2012年
40.0×60.0cm

guiding light
2012
40.0×60.0cm
JF201300001003

二つの星

2012年
60.0×90.0cm

two stars
2012
60.0×90.0cm
JF201300001004

私には角が生えた

2012年
60.0×90.0cm

I've grown horns
2012
60.0×90.0cm
JF201300001005

私

2012年
20.0×30.0cm

me
2012
20.0×30.0cm
JF201300001006

螺旋海岸14

2012年
40.0×60.0cm

rasen kaigan 14
2012
40.0×60.0cm
JF201300001007

宇宙人だった 1

2012年
60.0×90.0cm

I was an alien.1
2012
60.0×90.0cm
JF201300001008

349243

2012年
100.0×150.0cm

349243
2012
100.0×150.0cm
JF201300001009

朝いきなり死んだ

2011年
60.0×90.0cm

suddenly died in the morning
2011
60.0×90.0cm
JF201300001010

シロツメクサ

2012年
40.0×60.0cm

clovers
2012
40.0×60.0cm
JF201300001011

62359

2011年
40.0×60.0cm

62359
2011
40.0×60.0cm
JF201300001012

一匹のオオカミ

2011年
40.0×60.0cm

a wolf
2011
40.0×60.0cm
JF201300001013

クジラのこども2

2012年
60.0×90.0cm

whale calf 2
2012
60.0×90.0cm
JF201300001014

肉は肉、魚は魚

2010年
60.0×90.0cm

meat is meat, fish is fish
2010
60.0×90.0cm
JF201300001015

ヤマツツジ食べながら帰った

2010年
60.0×90.0cm

going back, eating azaleas
2010
60.0×90.0cm
JF201300001016

葬儀

2009年
55.0×60.0cm

funeral
2009
55.0×60.0cm
JF201300001017

ちよこちゃん、ちよこちゃん

2010年
40.0×60.0cm

chiyoko-chan. chiyoko-chan
2010
40.0×60.0cm
JF201300001018

開墾の肖像

2009年
100.0×150.0cm

portrait of cultivation
2009
100.0×150.0cm
JF201300001019

螺旋海岸34

2010年
60.0×90.0cm

rasen kaigan 34
2010
60.0×90.0cm
JF201300001020

兄ちゃんの春

2012年
120.0×180.0cm

brother's spring
2012
120.0×180.0cm
JF201300001021

ばけものと暮した

2012年
100.0×150.0cm

I lived with a monster
2012
100.0×150.0cm
JF201300001022

螺旋海岸45

2012年
80.0×90.0cm

rasen kaigan 45
2012
80.0×90.0cm
JF201300001023

さようなら

2012年
20.0×30.0cm

goodbye
2012
20.0×30.0cm
JF201300001024

螺旋海岸46

2011年
120.0×180.0cm

rasen kaigan 46
2011
120.0×180.0cm
JF201300001025

9 映像

奥村雄樹

ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー

2011年
HDヴィデオ
（27分39秒）

OKUMURA Yuki
Jun Yang：A Short Lecture on Forgetting and Remembering
2011
HD video
edition 2/5
JV201300001000

10 映像

田中功起

買物袋、ビール、鳩にキャビアほか

2004年
ヴィデオ
10点組（15分06秒）

TANAKA Koki
Plastic Bags, Beer, Caviar to Pigeons, etc.
2004
video
edition 6/8
JV201300003000

滝を使ってサラダを作る

ヴィデオ
２分30秒

A SALAD BALL MEETS WATER FALLS
video
2'30"

メジャー

ヴィデオ
１分６秒

MEASURING TAPE
2004
video
1'6"

スニーカー

ヴィデオ
30秒

SNEAKERS
video
30"

Plastic Bags into the Sky
ヴィデオ
２分30秒

Plastic Bags into the Sky
video
2 '30"

ビール
ヴィデオ
50秒

Beer
video
50"

鳩にキャビア
ヴィデオ
２分10秒

Caviar to Pigeons
video
2 '10"

フローター
ヴィデオ
３分30秒

Floater
video
3 '30"

Men and Women
ヴィデオ
40秒

Men and Women
video
40"

トルティーヤ・チップスからパンケーキへ
ヴィデオ
40秒

From Tortilla Chips to a Pancake
video
40"

ワン・ベッド・ルーム
ヴィデオ
40秒

One Bed Room
video
40"

11 版画
アルブレヒト・デューラー
騎士と死と悪魔
1513年
エングレーヴィング、紙
24.3×19.2 cm

DÜRER Albrecht
Knight, Death,and the Devil
1513
engraving on paper
24.3×19.2cm
FP201300001000

12 版画
第6回ウィーン分離派展ポスター
1900年頃
リトグラフ、紙
97.0×20.0cm

Poster for the *VI Secession exhibition 1900*
ca.1900
lithograph on paper
97.0×20.0cm
FP201300002000

寄贈作品（34件）

1 日本画
川端玉章
龍門之図
1901年頃
絹本墨画淡彩
174.0×86.0cm

KAWABATA Gyokusho
Dragon Gate Falls
ca.1901
ink and color on silk
174.0×86.0cm
JJ201300001000
カニエプロパン株式会社寄贈

2 洋画
鬼頭鍋三郎
青年像／画家の像
1923年
油彩、画布
91.7×72.8cm

KITO Nabesaburo
Portrait of a young Man/A Painter
1923
oil on canvas
91.7×72.8cm
JO201300002001/JO201300002002
鬼頭伊佐郎氏寄贈

3 洋画
鬼頭鍋三郎
閑日前庭図
1925年
油彩、画布
50.5×60.5cm

KITO Nabesaburo
Front Garden on a vacant Day
1925
oil on canvas
50.5×60.5cm
JO201300003000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

4 洋画
鬼頭鍋三郎
アコーディオンを持つ女
1926年頃
油彩、画布
91.5×72.7cm

KITO Nabesaburo
Woman with an Accordion
ca.1926
oil on canvas
91.5×72.7cm
JO201300004000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

5 洋画
鬼頭鍋三郎
静物
1926年頃
油彩、画布
73.0×91.0cm

KITO Nabesaburo
Still Life
ca.1926
oil on canvas
73.0×91.0cm
JO201300005000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

6 洋画
鬼頭鍋三郎
風景
1926年頃
油彩、画布
91.3×117.0cm

KITO Nabesaburo
Landscape
ca.1926
oil on canvas
91.3×117.0cm
JO201300006000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

7 洋画
鬼頭鍋三郎
窓際の静物
1928年
油彩、画布
72.8×90.5cm

KITO Nabesaburo
Still Life by the Window
1928
oil on canvas
72.8×90.5cm
JO201300007000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

8 洋画
鬼頭鍋三郎
黄衣の半裸婦
1931年
油彩、画布
73.2×91.0cm

KITO Nabesaburo
Half-naked Woman in Yellow Clothes
1931
oil on canvas
73.2×91.0cm
JO201300008000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

9 洋画
鬼頭鍋三郎
秋果
1931-32年
油彩、画布
45.0×60.5cm

KITO Nabesaburo
Autumn Fruits
1931-32
oil on canvas
45.0×60.5cm
JO201300009000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

10 洋画
鬼頭鍋三郎
男
1932年
油彩、画布
91.0×73.0cm

KITO Nabesaburo
Man
1932
oil on canvas
91.0×73.0cm
JO201300010000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

11 洋画
鬼頭鍋三郎
新聞を読む女
1937-38年
油彩、画布
116.5×91.1cm

KITO Nabesaburo
Woman reading a Newspaper
1937-38
oil on canvas
116.5×91.1cm
JO201300011000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

12 洋画
鬼頭鍋三郎
機銃分隊習作
1942年
油彩、画布
72.5×90.8cm

KITO Nabesaburo
Study of a Machine-gun Squad
1942
oil on canvas
72.5×90.8cm
JO201300012000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

13 洋画
鬼頭鍋三郎
黒衣のM嬢
1954年
油彩、画布
91.5×73.0cm

KITO Nabesaburo
Miss M in black
1954
oil on canvas
91.5×73.0cm
JO201300013000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

14 洋画
鬼頭鍋三郎
巴里の街
1954年
油彩、画布
100.0×80.4cm

KITO Nabesaburo
Street of Paris
1954
oil on canvas
100.0×80.4cm
JO201300014000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

15 洋画
鬼頭鍋三郎
シャルトル
1954年
油彩、画布
116.7×91.2cm

KITO Nabesaburo
Chartres
1954
oil on canvas
116.7×91.2cm
JO201300015000
鬼頭伊佐郎氏寄贈

16 洋画
設楽知昭
くまのプーの話
2012年
シルバーポイント・ガッシュ・テンペラ・
エンコースティック、アルシュ紙
65.1×50.5cm

SHITARA Tomoaki
Pooh's Story
2011
silverpoint,gouache,tempera and
encaustic on paper
65.1×50.5cm
JO201300016000
山下幸司・高子氏寄贈

17 洋画
島田鮎子
黒い渕のほとり
1994年
油彩、画布
162.1×130.3cm

SHIMADA Ayuko
The edge of black pool
1994
oil on canvas
162.1×130.3cm
JO201300017000
作者寄贈

18 洋画
島田鮎子
木の葉舞うとき
2000年
油彩、画布
162.1×130.3cm

SHIMADA Ayuko
The moment of leaves fluttering
2000
oil on canvas
162.1×130.3cm
JO201300018000
作者寄贈

19 洋画
島田章三
湖畔ゆく秋
1996年
油彩、画布
130.0×195.0cm

SHIMADA Shozo
Autumn Lakeside
1996
oil on canvas
130.0×195.0cm
JO201300019000
作者寄贈

20 洋画
中西夏之
K.T像・オレンヂドア
1966年
油彩・木炭・色鉛筆、画布
178.0×136.0cm

NAKANISHI Natsuyuki
Figure of K.T.Orange Door
1966
oil, charcoal and colored pencil on canvas
178.0×136.0cm
JO201300021000
作者寄贈

21 洋画
中西夏之
K.T像・グリーンドアⅠ
1966年
油彩、画布・ガラス扉
178.0×137.0cm

NAKANISHI Natsuyuki
Figure of K.T.Green Door Ⅰ
1966
oil on canvas and glass door
178.0×137.0cm
JO201300022000
作者寄贈

22 洋画
中西夏之
K.T像・グリーンドアⅡ
1966年
油彩、画布
179.0×135.0cm

NAKANISHI Natsuyuki
Figure of K.T.Green Door Ⅱ
1966
oil on canvas
179.0×135.0cm
JO201300023000
作者寄贈

23 洋画
中西夏之
K.T像・グリーンドアⅢ
1966年
油彩、画布
177.0×135.0cm

NAKANISHI Natsuyuki
Figure of K.T.Green Door Ⅲ
1966
oil on canvas
177.0×135.0cm
JO201300024000
作者寄贈

24 洋画
山田正亮
Still Life no.20
1950-51年
油彩、画布
117.0×91.0cm

YAMADA Seiryo
Still Life no.20
1950-51
oil on canvas
117.0×91.0cm
JO201300025000
株式会社カサハラ画廊寄贈

25 洋画
山田正亮
Work C.33
1960年
油彩、画布
145.5×97.0cm

YAMADA Seiryo
Work C.33
1960
oil on canvas
145.5×97.0cm
JO201300026000
株式会社カサハラ画廊寄贈

26 水彩・素描
北川民次
池袋風景
1937年頃
水彩、紙
59.3×76.0cm

KITAGAWA Tamiji
Scenery of Ikebukuro, Tokyo
1937
color on paper
59.3×76.0cm
JD201300001000
秋山ゆりか氏寄贈

27 彫刻・立体
ふじい忠一
untitled 1991
1991年
杉
220.0×300.0×90.0cm

FUJII Chuichi
untitled 1991
1991
japanese ceder
220.0×300.0×90.0cm
JS201300005000
作者寄贈

28 版画
小泉癸巳男
小泉癸巳男版画集より《かき舟》
1923年
木版、紙
17.5×24.0cm

KOIZUMI Kishio
Prints of Kishio Koizumi "Oyster boat"
1923
woodcut on paper
17.5×24.0cm
JP201300001000
安井俊夫氏寄贈

29 版画
小泉癸巳男
小泉癸巳男版画集より《不忍の梅雨》
1923年
木版、紙
17.5×24.5cm

KOIZUMI Kishio
Prints of Kishio Koizumi "Shinobazu pond in the rainy season"
1923
woodcut on paper
17.5×24.5cm
JP201300002000
安井俊夫氏寄贈

30 版画
小泉癸巳男
小泉癸巳男版画集より《三条大橋》
1923年
木版、紙
17.3×24.5cm

KOIZUMI Kishio
Prints of Kishio Koizumi "Sanjo bridge"
1923
woodcut on paper
17.3×24.5cm
JP201300003000
安井俊夫氏寄贈

31 版画
小泉癸巳男
小泉癸巳男版画集より《秋》
1923年
木版、紙
16.6×24.0cm

KOIZUMI Kishio
Prints of Kishio Koizumi "Autumn"
1923
woodcut on paper
16.6×24.0cm
JP201300004000
安井俊夫氏寄贈

32 版画
小泉癸巳男
小泉癸巳男版画集より《道》
1923年
木版、紙
17.2×24.8cm

KOIZUMI Kishio
Prints of Kishio Koizumi "The Road"
1923
woodcut on paper
17.2×24.8cm
JP201300005000
安井俊夫氏寄贈

33 映像
奥村雄樹
善兵衛の目玉（宇宙編）
2012年
HDヴィデオ
（22分30秒）

OKUMURA Yuki
Zenbei's Eyeballs（Telescope ver.）
2012
HD video
Edition:A.P.1/2
JV201300002000
作者寄贈

34 資料
山田純嗣
（11-6）GARDEN OF EARTHLY DELIGHTSのための立体
2010-12年
石膏、樹脂、粘土、竹ひご、針金、ウレタンフォーム
サイズ可変

YAMADA Junji
Models for（11-6）GARDEN OF EARTHLY DELIGHTS
2010-12
plaster,gum,clay,bamboo stick, wire, polyurethane foam
variable size
JM201300001001～009
作者寄贈

寄託

新規寄託品

2013年度には新たに４所蔵者から15点の寄託を受けた。

寄託品の状況（2014年３月末現在）

分　類	点　数
日　本　画	47
洋　　画	114
立　　体	70
版　　画	123
水彩・素描	90
写　　真	92
資　　料	14
計	40所蔵者550点

2　保存

保存事業の実施状況（2013(平成25)年度）

前年度に引き続き、木村定三コレクションの調査、保存処置を中心に行ったが、その他の所蔵作品については、新収蔵品や貸出作品を優先して行った。

○所蔵作品の状態調査と保存処置等

保存処置を外部委託で行ったものは、下記の通り。

2013(平成25)年度　外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名 制作年（時代）	作品名 （技法材料）	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	伝玄証 鎌倉時代 13世紀後半	如意輪観音像 （絹本金泥）	日本画	破れ、折れ、磨耗、汚損	本格修理 （打ち替え）	修美 2ヵ年事業
2	作者不詳 室町時代14～15世紀	刺繍種子胎蔵界曼荼羅図 （絹本着色繍）	日本画	繍部分の粉状化、折れ、破れ、汚損	本格修理 （打ち替え）	松鶴堂 2ヵ年事業
3	山田睦三郎 1919年	樹幹風景 （油彩、画布）	絵画	カンバスの変形、剥離、剥落、汚損	ルースライニング、ストリップライニング、剥落留、充填、補彩	黒川結衣 （館内処置）
4	絹谷幸二 1979年	画廊の博子の像 （フレスコ）	絵画	剥離	剥落留、補彩、額の改造	黒川結衣 （館内処置）
5	伊藤廉 1928年	新聞を読む女 （油彩、画布）	絵画	カンバスの変形、剥離、剥落、汚損、カビ害	ルースライニング、ストリップライニング、剥落留、充填、補彩	黒川結衣 （館内処置）
6	藤井達吉 1953年	切透螺鈿象嵌白鳳瑞雲文手箱下絵 （膠彩・貝、紙）	水彩 素描	支持体の変形、剥離、剥落	剥落留、マット装	黒川結衣 （館内処置）
7	野崎華年 1895年	武具 （油彩、紙）	絵画	剥離、剥落、汚損 不適切な額装	剥落留、クリーニング 額の剥落留･改造	寺田･ACS （館内処置）

2013(平成25)年度　外部に委託した詳細状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	作家名 制作年（時代）	作品名（現在の公開名）	種別	調査項目	目的	依頼先
1	ポール・ゴーギャン 1888年	海岸の岩／木靴職人 （両面油彩）	絵画	X線透過撮影 赤外・紫外線撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
2	パブロ・ピカソ 1902年	青い肩掛けの女	絵画	X線透過撮影 赤外・紫外線撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
3	フランティシュク・クプカ 1919年	灰色と黄金の展開	絵画	X線透過撮影 赤外・紫外線撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
4	作者不詳 （上半身のみ12世紀か）	木造薬師如来坐像 木村定三コレクションM597	彫刻	X線透過撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
5	作者不詳 （南北朝 14世紀か）	木造吉祥天立像 木村定三コレクションM617	彫刻	X線透過撮影 蛍光X線分析	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
6	作者不詳 （南北朝 15世紀か）	木造善財童子立像 木村定三コレクションM618	彫刻	X線透過撮影 蛍光X線分析	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
7	作者不詳 （古墳か?）	銀象嵌鉄鉾 木村定三コレクションM294	考古遺物	X線透過撮影 蛍光X線分析	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
8	作者不詳 （中国 南宋時代 12-13世紀）	黒漆梅花形盆 木村定三コレクションM1591	工芸	X線透過撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
9	作者不詳 年代不明	黒漆円筒型面箱 （狂言面･鳶 付属面箱） 木村定三コレクション1132-3	工芸	X線透過撮影	調査	財団法人 元興寺文化財研究所
10	作者不詳 （鎌倉-南北朝 14世紀）	黒漆厨子 木村定三コレクションM616	工芸	修理方針に関する 専門委員会*1の設置	修理	文化財保存(株)
11	作者不詳 （鎌倉-南北朝 14世紀）	黒漆厨子 木村定三コレクションM616	工芸	X線透過撮影	修理	財団法人 元興寺文化財研究所

＊1　黒漆厨子修理方針のための検討会委員

谷口耕生（奈良国立博物館）・・・・絵画史専門
大原嘉豊（京都国立博物館）・・・・絵画史専門
久保智康（京都国立博物館名誉研究員）・金工史専門
伊藤哲夫（文化庁工芸部門調査官）・・・漆工史専門
吉岡宏（文化財保存）　選定保存技術「装潢修理技術」団体認定
今田淳（文化財保存）　選定保存技術「装潢修理技術」団体認定
北村昭斎　選定保存技術「漆工品修理」個人認定
北村　繁　漆工品修理技術者
雨森久晃　有形民俗資料修理技術者　元興寺文化財研究所
川本耕三　保存化学（分析化学）　元興寺文化財研究所

2013（平成25）年度　新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名	種別	製作物	製作者・処置者
1	富岡鉄斎	虎僊高虎子図	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
2	富岡鉄斎	大国大神神影	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
3	富岡鉄斎	暁山雲図	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
4	富岡鉄斎	円窓三景図 三幅	日本画	中性箱・太巻軸 3本	鈴木昌生堂(尾崎)
5	岸田劉生	鵜沼小景（春夏）	日本画	中性箱・太巻軸 2本	鈴木昌生堂(尾崎)
6	岸田劉生	鵜沼小景（秋冬）	日本画	中性箱・太巻軸 2本	鈴木昌生堂(尾崎)
7	岸田劉生	四時競甘	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
8	岸田劉生	翡翠柳図	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
9	岸田劉生	洛東新緑	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
10	岸田劉生	秋山隠士	日本画	中性箱・太巻軸	鈴木昌生堂(尾崎)
11	吉田克朗	Work“７”	版画	マット装丁(汎用大衣)	ACS佐藤
12	吉田克朗	Work“８”	版画	新規額の制作	ACS佐藤
13	吉田克朗	Work“９”	版画	新規額の制作	ACS佐藤
14	吉田克朗	Work“１０”	版画	新規額の制作	ACS佐藤
15	吉田克朗	Work“１１”	版画	新規額の制作	ACS佐藤
16	吉田克朗	Work“１２”	版画	新規額の制作	ACS佐藤
17	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　1	素描	新規額の制作	ACS佐藤
18	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　2	素描	新規額の制作	ACS佐藤
19	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　3	素描	新規額の制作	ACS佐藤
20	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　4	素描	新規額の制作	ACS佐藤
21	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　5	素描	新規額の制作	ACS佐藤
22	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　6	素描	新規額の制作	ACS佐藤
23	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　7	素描	新規額の制作	ACS佐藤
24	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　8	素描	新規額の制作	ACS佐藤
25	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　9	素描	新規額の制作	ACS佐藤
26	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　10	素描	新規額の制作	ACS佐藤
27	山本直彰	帰還Ⅲ ドローイング　11	素描	新規額の制作	ACS佐藤
28	麻生三郎	海（明石の海）	素描	マット装(汎用三々)	ACS佐藤
29	麻生三郎	法起寺附近（蓬莱屋カレンダーのための素描）	素描	マット装(汎用三々)	ACS佐藤
30	麻生三郎	人	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
31	麻生三郎	坐った人	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
32	麻生三郎	月（蓬莱屋カレンダーのための素描）	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
33	麻生三郎	空	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
34	麻生三郎	空	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
35	麻生三郎	空	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
36	麻生三郎	人	素描	マット装(汎用全紙)	ACS佐藤
37	麻生三郎	人	素描	新規額の制作	ACS佐藤
38	加納光於	PENINSULAR 半島状の！ No.23	版画	新規額の制作	ACS佐藤
39	荒川修作	個展ポスター (上記加納の額の内部から発見)	版画	マット装(汎用大判)	ACS佐藤
40	須田剋太	乾呻を　草稿断片 (M1541《炭取》の箱底から発見)	資料	皺のばしおよび マット装(汎用三々)	黒川結衣 ACS佐藤
41	東大寺落慶	須田剋太	絵画	額の改造	ACS佐藤

○保存環境の整備等

引き続き生物被害対策のために、生物調査を行った。友の会サポート事業の協力を得て、作品環境の清浄化に関する諸処の作業を行った。

3　管理

所蔵作品の管理状況（2013（平成25）年度）

作品の管理

2013年度に「愛知県美術館所蔵作品点検要領」を新たに策定し、作品を８つに分類し毎年１分類ずつ管理状況の点検を行うとともに、愛知県財務規則第118条に基づく年１回の全作品個数確認作業を実施した。

作品の貸出

他の美術館等からの展覧会等への貸出要請に対して、作品の保存状態が比較的良好で、コレクション展の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。

また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査した。

貸出の概要（貸出期間　2013年４月１日～2014年３月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	32件	191点	792,470人（22,603人）
	県関係機関	5件	47点	
国外	美術館・博物館	0件	0点	
計		37件	238点	

※データは2014年5月20日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、昨年度報告分は含まない。
また、入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったものの合計。

展示・教育普及

1　コレクション展

展示の概要

コレクション展では、主に20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を行うと同時に、来館者の関心の多様化を考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。2013年度は年間を３期に分けてコレクション展を開催。各期に作品を入れ替え、幅広い作品の紹介に努めた。

2013年度のコレクション企画は、「アイチのチカラ！―戦後愛知のアート、70年の歩み」展を開催した。国内外で活躍する第二次世界大戦後から現在までの愛知ゆかりの芸術家たちによる活動を紹介し、愛知のアートのこれまでの歩みとこれからの可能性を全国に向けて発信した。

また、新収蔵の我妻碧宇、嶋谷自然、平川敏夫による日本画を、「日本画の風景」というテーマのもと公開した。そのほか、所蔵作品と寄託作品を組み合わせて国吉康雄と藤田嗣治を二人展形式で特集するなど、当館の多様なコレクションを大いに活用した展示を行った。

コレクション展の開催状況（2013（平成25）年度）

			総入場者数	１日平均
第１期	2013年４月26日－６月23日 「日本画の風景　新収蔵作品を中心に」 「20世紀の美術」 「彫刻家たちの見たフランス」 「木村定三コレクション　岡本柳南」 APMoA Project, ARCH vol. 6 藤永覚耶「空即是色」		64,680人	（52日間） 1,244人
	内　訳	企画展「プーシキン美術館展」共通入場者数	63,403人	1,219人
		コレクション展のみの入場者数	1,277人	25人
第２期	2013年11月29日－2014年２月２日 「アイチのチカラ！―戦後愛知のアート、70年のあゆみ」 「20世紀の美術」 「木村定三コレクション　熊谷守一の日本画・書」 APMoA Project, ARCH vol. 7 濱口直巳「音景no. 7―APMoAの場合」		7,952人	（51日間） 156人
	内　訳	「アイチのチカラ！」（展示室１－５）と展示室６－８のコレクション展入場者の区別なし	7,952人	156人
第３期	2014年２月25日－４月６日 「20世紀美術」「木村定三コレクション　江戸絵画の点描」 「国吉康雄と藤田嗣治」 APMoA Project, ARCH vol. 8 久保智史「Everyday」		64,449人	（39日間） 1,653人
	内　訳	企画展「印象派を超えて」展共通入場者数	63,501人	1,628人
		コレクション展のみの入場者数	948人	24人
2013年度　合　計			147,220人	１日平均 （148日間） 995人

コレクション展　展示作品リスト

■2013年度第１期コレクション展出品リスト〔2013年4月26日㈮ー6月23日㈰〕

展示室４では、新収蔵作品4点を含む、風景や自然をモティーフにした20世紀後半の日本画を紹介した。展示室５では、展示室を４つのセクションに分けて、順にフランス、ドイツ、アメリカ、日本の20世紀の作品を展示した。展示室７では、フランスの彫刻に刺激を受けて日本の彫刻に「近代」をもたらした日本の彫刻家たちの作品を展示した。展示室８では木村定三コレクションから、名古屋出身の南画家・岡本柳南が晩年に描いた山水画と花鳥画の代表作を紹介した。

前室１

日本画	田渕俊夫 青木ヶ原	作者寄贈	1969年

展示室４　日本画の風景 新収蔵作品を中心に

日本画	嶋谷自然 磯	平成24年度　新収蔵作品　市野鷹生氏寄贈	1990年
日本画	我妻碧宇 群鶴	平成24年度　新収蔵作品　伊佐地忠氏寄贈	1940年頃
日本画	平川敏夫 黄山松雨		1982年
素描	平川敏夫 黄山松雨大下図	平成24年度　新収蔵作品　平川ヤエ氏寄贈	1982年頃
素描	平川敏夫 黄山松雨小下図	平成24年度　新収蔵作品　平川ヤエ氏寄贈	1982年頃
日本画	工藤甲人 坐忘		1982年
日本画	吉田善彦 雨余桂林		1982年
日本画	田渕俊夫 すぎばやし	作者寄贈	1989年
日本画	麻田鷹司 鬼界ヶ島		1982年

展示室５　20世紀の美術

絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	（株）東海銀行寄贈	1902年
絵画	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺		1906年
絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力（株）寄贈	1921-22年
絵画	エドゥワール・ヴュイヤール 窓辺の女		1898年
絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣		1902年
絵画	ピエール・ラプラード バルコニー		制作年不明
絵画	ピエール・ボナール 子供と猫		1906年頃
絵画	ジャック・ヴィヨン 存在		1920年
彫刻	レイモン・デュシャン=ヴィヨン 恋人たち		1913年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画		1925年
絵画	ジャン・フォートリエ 黒の青	寄託作品	1959年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物		1912年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭		1935年
絵画	エミール・ノルデ 静物Ｌ（アマゾーン、能面等）		1915年
水彩画	パウル・クレー 蛾の踊り		1923年
絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ		1927年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士		1954年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 夕暮れ		1903年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 鏡		1907年
版画	パウル・クレー 喜劇役者（インヴェンション4）		1904年
彫刻	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちⅡ		1913年（1973年頃鋳造）
彫刻	エルンスト・バルラッハ 忘我		1911-12年
彫刻	ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年		1913年
絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青		1958年
絵画	アド・ラインハート No.114		1950年
素描	ロバート・ラウシェンバーグ コース		1958年
絵画	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ポンズ Ⅳ		1969年
絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー		1960-61年
絵画	松本陽子 光は荒野の中に拡散している		1993年
絵画	中上 清 無題		2007年
絵画	小池隆英 無題		2006年
絵画	岸本吉弘 NARAI-Hidden Dragon	平成24年度　新収蔵作品	2007年

展示室６　APMoA Project, ARCH vol. 6 藤永覚耶「空即是色」

絵画	藤永覚耶 untitled［1213］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 untitled［1301］	作者蔵	2013年
絵画	藤永覚耶 forest［1304］	作者蔵	2013年
絵画	藤永覚耶 foliage［1210］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 untitled［1303］	作者蔵	2013年
絵画	藤永覚耶 untitled［1305］	作者蔵	2013年
絵画	藤永覚耶 untitled［1306］	作者蔵	2013年
絵画	藤永覚耶 foliage［1201］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 foliage［1202］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 foliage［1203］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 foliage［1204］	作者蔵	2012年

展示室７　彫刻家たちの見たフランス

彫刻	荻原守衛 女の胴		1907年（1993年鋳造）
彫刻	戸張孤雁 立てる女		1911年
彫刻	戸張孤雁 曇り	平成24年度　新収蔵作品	1917年
彫刻	戸張孤雁 煌めく嫉妬		1924年
彫刻	戸張孤雁 立てる女		1911年（1996年鋳造）

彫刻	中原悌二郎 エチュード		1914年（1991年鋳造）
彫刻	中原悌二郎 憩える女		1919年
彫刻	山本豊市 聴		1966年頃
彫刻	高田博厚 女のトルソ		1937年

展示室８　木村定三コレクション 岡本柳南

日本画	岡本柳南 東郊春望	木村定三コレクション M482	1927年
日本画	岡本柳南 武陵烟靄図	木村定三コレクション M476	不詳
日本画	岡本柳南 端午新晴	木村定三コレクション M499	1926年
日本画	岡本柳南 松濤晩趣	木村定三コレクション M498	1924年
日本画	岡本柳南 秋汀鶺鴒	木村定三コレクション M470	1923年頃
日本画	岡本柳南 老松長壽　菊花報喜	木村定三コレクション M472	不詳
日本画	岡本柳南 鵑声披秋	木村定三コレクション M506	1928年
日本画	岡本柳南 東耕春色	木村定三コレクション M505	1931年
日本画	岡本柳南 松壽千年	木村定三コレクション M480	1932年
日本画	岡本柳南 暗香浮動	木村定三コレクション M503	1931年
日本画	岡本柳南 嵐山花開	木村定三コレクション M473	不詳
日本画	岡本柳南 嵐山春闌	木村定三コレクション M463	不詳
日本画	岡本柳南 嵐山春景	木村定三コレクション M464	不詳
日本画	岡本柳南 嵐山秋錦図	木村定三コレクション M477	1927年
日本画	岡本柳南 嵐山濤翠	木村定三コレクション M481	1933年
日本画	岡本柳南 朧月	木村定三コレクション M501	1932年
日本画	岡本柳南 蜻蛉飛泉	木村定三コレクション M510	1932年

前室２　APMoA Project, ARCH vol. 6 藤永覚耶「空即是色」

絵画	藤永覚耶 in crowds［0902］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0914］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0907］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0908］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0905］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0904］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0906］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 in crowds［0914］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 foliage［0901］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 foliage［mass］［1203］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 foliage［mass］［0901］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 foliage［mass］［0903］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 foliage［mass］［0902］	作者蔵	2009年
絵画	藤永覚耶 foliage［mass］［1204］	作者蔵	2012年
絵画	藤永覚耶 foliage［1302］	作者蔵	2013年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈	1984年

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女		1983年
彫刻	加藤昭男 大地		1986年
彫刻	小田　襄 円柱の構造		1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地		1992年

２階フォーラム

彫刻	エミール=アントワーヌ・ブールデル 自由		1916年

12階アートスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女		1966年

■「アイチのチカラ! 戦後愛知のアート、70年の歩み」展 / 2013年度第２期コレクション展　出品リスト〔2013年11月29日㈮－2014年2月2日㈰〕

展示室７では、クリムト《人生は戦いなり（黄金の騎士）》を含む当館の所蔵作品により、フォーヴィスム、ドイツ表現主義、シュルレアリスムなど20世紀前半のヨーロッパ美術の流れを紹介した。展示室８では木村定三コレクションから、洋画家として知られる熊谷守一が50代後半に入ってから本格的に取り組み出した日本画や書を展示した。

展示室1～２　アイチのチカラ！展 第1章：戦後愛知画壇の黎明

絵画	太田三郎 美を審かれる三美神		1957年
絵画	遠山清 食後		1940年
絵画	鬼頭鍋三郎 マドモワゼルM		1954年
絵画	市野長之介 母と子		1951年
絵画	横井礼以 洋蘭	木村定三コレクション M2651	1946年
絵画	横井礼以 真鶴の海岸	木村定三コレクション M2643	1948年
絵画	魚津良吉 静物	渡辺澄子氏寄贈	1951年
絵画	上原欽二 喘ぐ	桑原幹根氏寄贈	1958年
絵画	小川博史 クエンカ		1960年
絵画	加藤金一郎 HEKEBEKE		1964年
絵画	丹羽和子 占う女		1964年

絵画	岡田徹 緑の作品（船祭り）		1961年
絵画	北川民次 砂の工場		1959年
絵画	安藤幹衛 逃走	安藤洋氏寄贈	1958年
絵画	杉本健吉 邪鬼	作者遺族寄贈	1955年
資料	杉本健吉 邪鬼（添書）	作者遺族寄贈	1955年
彫刻・立体	野々村一男 思・行の人		1975年
日本画	内田土卵 北の山		1967年
日本画	前田曄 滝		1968年
日本画	嶋谷自然 緑影	作者寄贈	1950年
日本画	我妻碧宇 大仏殿暮色		1950年
日本画	朝見香城 風神図		1964年頃
日本画	朝見香城 雷神図		1964年頃
日本画	市野亨 静物		1958年頃

展示室 2　アイチのチカラ！展 第 2 章：三芸術大学の開学

絵画	伊藤廉 円卓上のレモン		1963年
絵画	笠井誠一 室内		1964年
絵画	島田章三 石庭女人図	長谷川久道氏寄贈	1976年
絵画	鬼頭鍋三郎 春装譜	作者寄贈	1965年
日本画	片岡球子 面構　歌川国貞・柳亭種彦		1980年
日本画	布施伸介 蓮華蔓陀羅	作者寄贈	1984年
日本画	小山硬 天草		1974年
彫刻・立体	山本豊市 立女B		1969年
彫刻・立体	野々村一男 青		1962年
日本画	我妻碧宇 湖		1960年頃
絵画	辻親造 退屈な地平		1971年
彫刻・立体	野水信 コの記号65-3		1965年
彫刻・立体	石黒鏘二 フク	作者寄贈	1968年
絵画	石河彦男 島の城塞都市	石河晄一郎氏寄贈	1981年
日本画	嶋谷自然 阿蘇		1981年
彫刻・立体	石田清 野性		1970年

展示室 2　アイチのチカラ！展 第 3 章：戦後愛知の日本画

日本画	松村公嗣 雲		1984年
日本画	田渕俊夫 青木ヶ原	作者寄贈	1969年
日本画	平川敏夫 黄山松雨		1982年
日本画	松井和弘 宙仰	作者寄贈	2000年
日本画	平松礼二 峠四題 路・家路	株式会社槌屋寄贈	1992年
日本画	平松礼二 峠四題 路・花の季	株式会社槌屋寄贈	1992年
日本画	平松礼二 峠四題 路・白い花	株式会社槌屋寄贈	1992年
日本画	平松礼二 峠四題 路・雨	株式会社槌屋寄贈	1992年
日本画	森緑翠 蘇州追憶		1980年
日本画	大森運夫 島の鬼太鼓		1976年
日本画	高畑郁子 聖界		1980年
日本画	中村正義 おねえちゃん		1968年
日本画	中村正義 顔		1976年
日本画	中村正義 顔		1976年
日本画	中村正義 舞妓		1974年
日本画	星野真吾 喪中の作品（昇天）		1965年

展示室 2 ～ 3　アイチのチカラ！展 第 4 章：戦後愛知の版画

版画	佃政道 桂離宮	佃秀實氏寄贈	1964年
版画	佃政道 春日大社	佃秀實氏寄贈	1968年
版画	佃政道 瀬戸の裏街	佃秀實氏寄贈	1987年
版画	佃政道 興福寺南円堂	佃秀實氏寄贈	1970年
版画	鈴木幹二 樹57	鈴木シゲノ氏寄贈	1957年
版画	鈴木幹二 運ぶ	鈴木シゲノ氏寄贈	1959年
版画	鈴木幹二 樹　293	鈴木シゲノ氏寄贈	1984年
版画	鈴木幹二 樹　765	鈴木シゲノ氏寄贈	1995年
版画	磯見輝夫 蝶	作者寄贈	1980年
版画	磯見輝夫 森へ	作者寄贈	1984年
版画	磯見輝夫 鳥の如く	愛知県美術館友の会寄贈	1988年
版画	野村博 歴史（三部作）夜	野村冨貴子氏寄贈	1963年
版画	野村博 歴史（三部作）昼	野村冨貴子氏寄贈	1963年
版画	野村博 ゼノンの矢-28	野村冨貴子氏寄贈	1965年
版画	野村博 作品62-63	野村冨貴子氏寄贈	1962年
版画	森岡完介 Message 82-4P	作者寄贈	1982年
版画	森岡完介 Message 82-4N	作者寄贈	1982年
版画	森岡完介 Beethoven at the beach－Message 86-11P	愛知県美術館友の会寄贈	1986年
版画	森岡完介 Beethoven at the beach－Message 86-11N	愛知県美術館友の会寄贈	1986年
版画	吉岡弘昭 GON&BEN（YELLOW）	愛知県美術館友の会寄贈	1976年
版画	吉岡弘昭 SUNDAY　PAINTING	作者寄贈	1980年
版画	吉岡弘昭 23番街の悪漢	愛知県美術館友の会寄贈	1981年
版画	原健 STROKES 93-12	ギャラリー APA寄贈	1993年
版画	原健 STROKES 93-13	ギャラリー APA寄贈	1993年
版画	原健 STROKES 93-14	ギャラリー APA寄贈	1993年

展示室 4　アイチのチカラ！展 第 5 章：愛知のモダン＆コンテンポラリーアート

絵画	竹田大助 牧神の朝		1953年

日本画	堀尾実 金乃鎖	堀尾正靭氏寄贈	1952年
日本画	水谷勇夫 玩具	作者寄贈	1960年
絵画	山田彊一 婆羅門 No.1		1962年
絵画	桑原佐吉 天平シリーズ '78-A	桑原久子氏寄贈	1978年
絵画	金子滋 白夜（龍神図一）	金子貞子氏寄贈	1958年
絵画	桑山忠明 茶白青		1968年
絵画	荒川修作 作品		1963年
絵画	吉川家永 方式 '68-16	作者寄贈	1968年
絵画	稲葉桂 土にかえるもの 65-1		1965年
絵画	森真吾 きいろの角		1964年
絵画	斎藤吾朗 屋根の上の記念撮影		1973年

前室1　アイチのチカラ！展
第5章：愛知のモダン＆コンテンポラリーアート

絵画	島田鮎子 白の想い	作者寄贈	1997年
絵画	尾崎良二 残照の海		1975年
素描	近藤文雄 さらしもの（3）		1964年
素描	近藤文雄 M氏の肖像		1966年
素描	近藤文雄 連なるとみえて		1975年
素描	近藤文雄 6人の盲人たち		1968年

展示室5　アイチのチカラ！展
第5章：愛知のモダン＆コンテンポラリーアート

彫刻・立体	戸谷成雄 双影体Ⅱ		2001年
彫刻・立体	久野真 鋼鉄による作品　#272		1975年
彫刻・立体	出原次朗 逃げるものはとじこめる	作者寄贈	1993年
絵画	原裕治 アポクリファ No. 1		1994年
絵画	原裕治 アポクリファ No. 2	作者寄贈	1994年
素描	真島直子 地ごく楽2003-2		2003年
絵画	山村國晶 Work73-1	作者寄贈	1973年
絵画	山本富章 Six Cadenzas -AUI- No. 1	作者寄贈	1993年
絵画	山本富章 Six Cadenzas -AUI- No. 5		1993年
絵画	吉本作次 中断された眠りⅡ		1985年
絵画	櫃田伸也 空き地		1997/2008年
絵画	森北伸 a colony	土崎正彦氏寄贈	2004年
絵画	杉戸洋 the Second Lounge		2002年
絵画	小林孝亘 Stairs	株式会社カサハラ画廊寄贈	2008年
絵画	奈良美智 Walking with Small Steps	寄託作品	1995年
彫刻・立体	渡辺英司 蝶瞰図 左／右		2012年
版画	山田純嗣 (11-6) GARDEN OF EARTHLY DELIGHTS		2010-12年
絵画	安藤正子 おへその庭		2010年
絵画	坂本夏子 Painters		2009年
絵画	染谷亜里可 Decolor-Level 3		2001年

前室2　アイチのチカラ！展
第5章：愛知のモダン＆コンテンポラリーアート

版画	倉地比沙支 menu2（chicken）		2004年
版画	倉地比沙支 a rest		2009年
版画	倉地比沙支 new model		2006年
版画	倉地比沙支 independence071		2007年
絵画	設楽知昭 火口		2012年
絵画	設楽知昭 空と炎		2011年
絵画	中澤英明 子供の顔－ベサメ・ムーチョ		2003年
絵画	中澤英明 子供の顔－寝ぐせ		2003年
絵画	中澤英明 子供の顔－クマ	作者寄贈	2001年
彫刻・立体	藤城凡子 惑星	寄託作品	2005年

展示室6　APMoA Project, ARCH vol. 7
濱口直巳「音景 no. 7 ―APMoAの場合」

インスタレーション	濱口直巳 音景 no. 7―APMoAの場合	作者蔵	2013年

展示室7　20世紀の美術

絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	（株）東海銀行寄贈	1902年
絵画	エドゥワール・ヴュイヤール 窓辺の女		1898年
絵画	ピエール・ボナール 子供と猫		1906年頃
絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣		1902年
絵画	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺		1906年
絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力（株）寄贈	1921-22年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入	1903年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物		1912年
絵画	エミール・ノルデ 静物Ｌ（アマゾーン、能面等）		1915年
絵画	ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）		1943年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士		1954年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画		1925年
絵画	パウル・クレー 女の館		1921年
絵画	ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）		1933年

展示室8　木村定三コレクション
熊谷守一の日本画・書

書	熊谷守一 心月輪	木村定三コレクションJC200200002000	1940年
書	熊谷守一 蒼蠅	木村定三コレクションJC200200003000	1941年
書	熊谷守一 からす	木村定三コレクションJC200200019000	1950年
書	熊谷守一 かみさま	木村定三コレクションJC200200021000	1953年
書	熊谷守一 北冥魚化而爲鯤	木村定三コレクション M241	制作年不詳
日本画	熊谷守一 鯤	木村定三コレクションJJ200200044000	1958年
日本画	熊谷守一 大鵬	木村定三コレクション　M218	制作年不詳

日本画	熊谷守一 観世音菩薩	木村定三コレクション M211	1940年
日本画	熊谷守一 拾得	木村定三コレクション M2867	1958年
日本画	熊谷守一 寒山	木村定三コレクション M3285	1958年
日本画	熊谷守一 蝦蟆に蟻	木村定三コレクションJJ200200034000	1938年
日本画	熊谷守一 鯰	木村定三コレクション M181	制作年不詳
日本画	熊谷守一 磯撫子にイチモヂ蝶	木村定三コレクション M175	1966年
日本画	熊谷守一 椿に黒鶫	木村定三コレクション M176	1966年
日本画	熊谷守一 野良猫	木村定三コレクション M179	1962年
日本画	熊谷守一 猫	木村定三コレクションJJ200200028000	制作年不詳
日本画	熊谷守一 縁側	木村定三コレクション M257	1949年
日本画	熊谷守一 雨だれ	木村定三コレクションJJ200200026000	1950年

ロビー　アイチのチカラ！展 第5章：愛知のモダン＆コンテンポラリーアート

彫刻・立体	庄司達 白い布による空間 ’68-2	1968年（1979年再制作）	
彫刻・立体	清水九兵衛 CORRESPOND D	清水久仁子氏寄贈	2006年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈	1984年

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女		1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	アイチのチカラ！展第5章出品作	1986年
彫刻・立体	小田　襄 円柱の構造		1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	アイチのチカラ！展第5章出品作	1992年

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女		1966年

■2013年度第３期コレクション展出品リスト　〔2014年2月25日㈫－4月6日㈰〕

展示室５では、彫刻を中心に20世紀の美術作品を展示した。また、その最後のセクションでは、素材の多様性に注目し、さまざまな素材による現代の日本の立体作品を紹介した。展示室７では企画展「印象派を超えて－点描の画家たち」展を意識して、木村定三コレクションから、南画を中心とした江戸時代絵画をその「点描」表現に注目しながら展示した。展示室８では、日本に生まれ20世紀前半に海外で名を成した二人の同世代の画家、国吉康雄と藤田嗣治を特集した。

展示室５　20世紀の美術

彫刻・立体	オーギュスト・ロダン 歩く人		1900年
彫刻・立体	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年		1897年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入	1903年
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 忘我		1911-12年
彫刻・立体	ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年		1913年
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	（株）東海銀行寄贈	1902年
絵画	アメデオ・モディリアーニ カリアティード		1911-13年
彫刻・立体	オシップ・ザツキン チェロのトルソ		1956-57年
絵画	ジャック・ヴィヨン 存在		1920年
絵画	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開		1919年
彫刻・立体	アレクサンダー・アーチペンコ 歩く女		1912年
彫刻・立体	ジャン・アルプ 森		1917年頃
絵画	ジョアン・ミロ 絵画		1925年
絵画	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）	カニエプロパン株式会社からの寄付金により購入	1931年
彫刻・立体	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品	1976年
絵画	パウル・クレー 女の館		1921年
絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン		1975年
彫刻・立体	イヴ・クライン アルマン		1962年
版画	クリスト 包まれたビル、ニューヨーク タイムズスクエア」最後 アライドケミカルタワーのためのプロジェクト	寄託作品	1968年
絵画	モーリス・ルイス デルタ・ミュー		1960-61年
彫刻・立体	ジョージ・シーガル ロバート＆エセル・スカルの肖像		1965年
彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機		1962年
彫刻・立体	橿尾正次 葉っぱのように		1965年
彫刻・立体	秋山陽 PhoⅡ		1990年
彫刻・立体	北山善夫 はなはだ大きいと言うべきである		1984年
彫刻・立体	土谷武 いきものⅡ		1985年
彫刻・立体	田窪恭治 廃墟		1985年

展示室６　APMoA Project, ARCH vol. 8 久保智史「Everyday」

絵画	久保智史 ぼくのうちゅう	愛知県立芸術大学蔵	2008年
絵画	久保智史 壁から地平	作者蔵	2011年
絵画	久保智史 体	作者蔵	2011年
絵画	久保智史 growing	作者蔵	2013年

絵画	久保智史 swimming	作者蔵 2013年
絵画	久保智史 僕らは穴の中から穴へと向かうのか	作者蔵 2013-14年

展示室 7　木村定三コレクション 江戸絵画の点描

絵画	浦上玉堂　木村定三コレクションJJ200210023000 山紅於染図（重要文化財）	19世紀初
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクションJJ200210021000 酔雲醒月図（重要文化財）	1818年
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクションJJ200210022000 秋色半分図（重要文化財）	1818年
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクションJJ200210020000 山水図（重要文化財）	1818年
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクションJJ200210008000 五言絶句（重要文化財）	1818年
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクション M1768 閣日微陰図	19世紀初
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクション M1773 高下数家図	19世紀初
絵画	浦上玉堂　木村定三コレクション M1769 雲山模糊図	19世紀初
絵画	大島来禽　木村定三コレクション M2190 天保九如図	1792年
絵画	愛石　木村定三コレクション M2154 春在流水図	18世紀後半-19世紀前半
絵画	愛石　木村定三コレクション M2157 倣沈石田山水図	18世紀後半-19世紀前半
絵画	中林竹洞　木村定三コレクション M1899 山水図	1824年
絵画	中林竹洞　木村定三コレクション M1898 梅花書屋図	1833年
絵画	中林竹渓　木村定三コレクション M2041 清渓高士図	19世紀
絵画	山本梅逸　木村定三コレクション M1805 山水図	1838年
絵画	青木蒲堂　木村定三コレクション M1748 芳野春色図	19世紀
絵画	青木蒲堂　木村定三コレクション M1751 養老山真景図	19世紀

展示室 8　国吉康雄と藤田嗣治

絵画	国吉康雄 ピクニック	寄託作品 1920年
絵画	国吉康雄 帽子の女	1920年頃
版画	国吉康雄 闘牛	寄託作品 1928年
版画	国吉康雄 四人の裸婦（クリシー通りのカフェ）	寄託作品 1928年
絵画	国吉康雄 籐椅子に座る女	寄託作品 1931年
絵画	国吉康雄 立っている裸婦	寄託作品 1939-41年
絵画	国吉康雄 荒天	1936年
素描	国吉康雄 タスコ（メキシコ）No.1	寄託作品 1935年
版画	国吉康雄 カフェ No.2	寄託作品 1935年
版画	国吉康雄 カーニバル	寄託作品 1949年
絵画	国吉康雄 クリップル・クリーク	寄託作品 1941年
絵画	国吉康雄 机の上の梨と葡萄	寄託作品 1945年
絵画	藤田嗣治 横臥裸婦	寄託作品 1931年
絵画	藤田嗣治 猫を抱く少女	寄託作品 1949年
絵画	藤田嗣治　トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 青衣の少女	1925年
絵画	藤田嗣治 リラの花（春）	寄託作品 1940年
水彩画	藤田嗣治 メキシコ人	寄託作品 1933年
水彩画	藤田嗣治 新京の女	寄託作品 1935年
水彩画	藤田嗣治 男の顔	1933年
素描	藤田嗣治 ダミア像	寄託作品 1950年

前室 2

絵画	北川民次 メキシコ三童女	1937年
絵画	北川民次 南国の花	1940年
絵画	北川民次 タスコからの眺望	1933年
版画	北川民次 メキシコの浴み	1960年（1941年頃）
絵画	久保智史　作者蔵、APMoA Project, ARCH Hito to Hana	2011年
絵画	久保智史　作者蔵、APMoA Project, ARCH ボール	2011年
絵画	久保智史　作者蔵、APMoA Project, ARCH 内部観測	2012年
絵画	久保智史　作者蔵、APMoA Project, ARCH ぼくの風景	2012年
絵画	久保智史　作者蔵、APMoA Project, ARCH 装置Ⅰ	2013年

ロビー　APMoA Project, ARCH vol. 8 久保智史「Everyday」

絵画	久保智史 続く宇宙、変わる宇宙	作者蔵 2011-12年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ　財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田　襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年

APMoA Project, ARCH

この事業の大きな特徴として、愛知県美術館の学芸員と作家が展覧会を行う点があげられる。それを通して、美術館が作家の表現活動をサポートするだけではなく、企画自体が作家、美術館、鑑賞者の架け橋となることが意図されている。プロジェクト名「ARCH」とは、こうした思いが込められたものである。

また、作家の選択については、各学芸員が当館で今、取り上げるべき作家を推薦し、それを美術館全体で議論して決定するかたちをとる。そのため、本企画は、作家、学芸員、画廊等にとって大きな刺激となり、中部圏における現代美術の交流、発信に寄与するものと期待される。

vol. 6　藤永覚耶「空即是色」

会　　期：2013年４月26日（金）－ ６月23日（日）
会　　場：展示室６ほか
主　　催：愛知県美術館
担当学芸員：中西園子
内容と結果：

京都嵯峨芸術大学及び愛知県立芸術大学で版画を学んだ藤永覚那（1983年滋賀県生まれ、滋賀県在住）は、現在、写真に撮影されたイメージを元に絵画を制作している。写真のボケやブレに真実味を感じると言う藤永の作品には、比較的鮮明に見える部分とぼやけて見える部分が一つの平面に継ぎ目なく共存しており、作品の前に立つと眩暈を起こさせるような感覚を覚える。その作品経験は、人間の視覚がいかに不安定なものかということを気づかせてくれる。

上のような画面の結果を得るため、藤永は、近年アルコール染料インクを溶解させるという技法で制作を行っている。
本展では、この技法によるシリーズの旧作と、美術館の空間に合わせた大画面の新作を展示した。また、前室２のガラス面を利用して、作品の裏から自然光を透過させ、あたかも作品が発光しているような効果を持つ作品も展示した。

とりわけ大画面の新作《forest［1304］》（2013年）では、画面に近づいて見ることと遠ざかってみることの違いを顕著に感じることができ、抽象的なイメージと具象的なモチーフとの間で揺れ動く視覚経験を生み出すことができた。自然光を透過させる作品では、光の量によって作品そのものの色が変化して見えることを示すことによって、美術館の展示室内における安定した鑑賞空間とは異なる場を提供することができた。

パンフレット：
Ｂ４判　二つ折り４ページ（2,000部）
テキスト：中西園子「ゆらぐ色彩に身をゆだねて」
デザイン：伊藤敦志（AIRS）
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

関 連 事 業：
○作家によるレクチャー
日　　時：2013年５月４日（土・祝）13：30－15：00
会　　場：愛知芸術文化センター 12階アートスペースE・F
作　　家：藤永覚耶
参加者数：19名

vol. 7　濱口直巳「音景no. 7―APMoAの場合」

会　　期：2013年11月29日（金）- 2014年２月２日（日）
会　　場：展示室６
主　　催：愛知県美術館
担当学芸員：大島徹也
内容と結果：

濱口直巳（1971年大阪生まれ、京都在住）は、ロンドンのチェルシーカレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン彫刻科卒業後、関西を中心に活動している作家である。

本展では、濱口の〈音景〉シリーズの新作インスタレーション１点を展示した。同シリーズでは、作家は細く削り黒く塗ったいくつもの木を糸で吊って、超越的な空間を創り出していく。そこでは、作家自身が「音景」と名づけているように、観者は一見したところの静寂の先に、音の響きを視覚的に感じ取る不思議な体験をすることになる。作品の中に入っていくと、音景も様相を変え、違う音色が奏でられていく。

濱口の〈音景〉シリーズの作品は、《音景no. ４―CESTAの場合》（2009年）、《音景no. ６―Bienioの場合》（2012年）といったように、作家が展示会場となる特定の場と向き合い対話する中から、その場ならではのものとして即興的に作り上げられていく。今回のAPMoA Project, ARCHでは、同シリーズの7作目として《音景no. ７―APMoAの場合》が制作された。

パンフレット：
Ｂ４判　両面１ページ（2,000部）
テキスト：大島徹也「濱口直巳―静寂の向こうがわ」
デザイン：伊藤敦志（AIRS）
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

関 連 事 業：
○アーティスト・トーク
日　　時：2013年12月21日（土）13：00－13：40
会　　場：展示室６
講　　師：濱口直巳
参加者数：26名

関 連 記 事：
【新聞】
宮川まどか「濱口直巳『音景 no. ７―APMoAの場合』」『中日新聞』2014年１月８日朝刊

vol. 8　久保智史「Everyday」

会　　期：2014年２月25日（火）－ ４月６日（日）
会　　場：展示室６ほか
主　　催：愛知県美術館
担当学芸員：塩津青夏
内容と結果：

久保智史（1985年愛知県一宮市生まれ、名古屋市在住）は、愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程を卒業後、名古屋を拠点に活動している画家である。本展では、2008年に制作された久保の卒業制作から、今回の展示のために制作された幅５メートルを超える新作まで12点を展示し、ここ数年間の仕事を紹介する内容とした。

久保の制作は、キャンバスなどの支持体の全面に点を打ち、それを線で結んでいき、現れてくる形体に色を塗っていくという方法で一貫して制作される。その方法はシンプルで単純でありながら、一つ一つ生み出される形や完成した作品は多様なものとなっている。無数の点と点をつないでいくつもの形象を生み出していくその手続きは、星空に様々なイメージを見出していくことで生まれる星座を思い起こさせる。

意図したことではなかったが、同時開催の企画展が点描の絵画が多く展示されたものであったこともあり、その流れで鑑賞することで、過去の作品との類似や相違が見えるなど、双方を関連付けて楽しむ来館者も多かった。

パンフレット：
B4判　二ツ折４ページ（2,000部）
テキスト：塩津青夏「久保智史の絵画」
デザイン：平井秀和
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

関 連 事 業：
○アーティスト・トーク
日　　時：2014年３月15日（土）15：00－16：30
会　　場：愛知芸術文化センター 12階アートスペースE・F他
講　　師：久保智史
参加者数：28名

関 連 記 事：
【新聞】
宮川まどか「美術　久保智史「Everyday」」『中日新聞』2014年３月12日朝刊

移動美術館

名　　称：愛知県美術館・愛知県陶磁美術館　平成２５年度
移動美術館
「もののふの絵姿と茶の湯のうつわ」

会　　場：小牧市まなび創造館

会　　期：2013年８月13日(火)～ ９月８日(日)
（８月20日(火)休館）　25日間

主　　催：愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、小牧市・小牧市教育委員会

担当学芸員：石崎尚

展示点数：愛知県美術館（日本画11点、書３点、水彩・素描８点、陶磁器２点　計24点）
愛知県陶磁美術館（陶磁器6点）

内　　容：

愛知県美術館では、平成６年度から年に１度、県内各地で移動美術館を開催しており、小牧市では初めての開催である。2013年は織田信長が小牧山城を築城して450年という記念の年に当たることから「小牧山城築城450年連携事業」として開催。同時期のあいちトリエンナーレ2013のパートナーシップ事業としても位置付けた。

展覧会は織田信長や武士にまつわる作品を中心に、武士が好んだ茶の湯に関連する作品を両館のコレクションから選んで構成した。移動美術館としてはテーマ性の強い展示内容となったが、時宜にかなった企画として、美術ファンのみならず幅広い層に関心を持ってもらえる展覧会となった。

入場者数：1,301人（１日平均52人）

関連事業：

①記念講演会
場　　所：小牧市まなび創造館多目的室
日　　時：８月17日(土) 14：00～15：00
講　　師：村田眞宏（愛知県美術館長）
演　　題「美術のたのしみ」
参加人数：29人

②展示説明会（ギャラリートーク）
場　　所：小牧市まなび創造館市民ギャラリー
日　　時：８月24日(土) 11：00～／13：30～（各30分間）
講　　師：石崎尚（愛知県美術館学芸員）
堀真子（愛知県陶磁美術館学芸員）
参加人数：22人

平成25(2013) 年度移動美術館：小牧市まなび創造館　出品作品

番号	作家名	作品名	備考	制作年
1	福田恵一	信長上洛の図		1944年
2	福田恵一	雄図		1940年
3	福田恵一	主計頭清正		1934年
4	川崎千虎	佐々木高綱被甲図		1884年
5	川崎千虎	楠公千早城の奇策		制作年不詳
6	川崎千虎	児島高徳		制作年不詳
7	川崎千虎	出陣風景		制作年不詳
8	川崎千虎	頼朝朽木隠れ		制作年不詳
9	川崎千虎	八幡太郎義家		制作年不詳
10	瀧秋方	十六		1977年
11	木島桜谷	灰燼		1927年
12	上杉謙信	織田信長宛 上杉謙信書状	木村定三コレクションM2013	桃山時代 (16世紀)
13	織田信長	織田信長朱印状	木村定三コレクションM2015	桃山時代 (16世紀)
14	織田有楽斎	書状	木村定三コレクションM218	桃山時代 (16世紀)
15	杉本健吉	「新・平家物語」刊行本第４巻 付録便覧「武装」挿図１原画		制作年不詳
16	杉本健吉	発表先不詳　新家物語絵巻「倶利伽羅合戦」		制作年不詳
17	杉本健吉	「新・平家物語」新装本第７巻風流陣」原画P47		制作年不詳
18	杉本健吉	「新・平家物語」週刊朝日第49回挿絵B「天意不可思議」原画		制作年不詳
19	杉本健吉	「新・平家物語」新装本第７巻「大悲譜」原画　P455		制作年不詳
20	杉本健吉	「新・平家物語」週刊朝日第42回挿絵C「非時香果」原画		制作年不詳
21	杉本健吉	「新・平家物語」新装本第５巻 「妻なりしもの」原画 P532		制作年不詳
22	杉本健吉	「新・平家物語」刊行本第３巻裏表紙見返絵のための未発表画稿		制作年不詳
23		大井戸茶碗　名明の井戸	木村定三コレクションM574	朝鮮時代 (16世紀)
24		斗々屋茶碗	木村定三コレクションM570	朝鮮時代 (16世紀)
25		青磁碗	愛知県陶磁美術館蔵	明時代 (15世紀末－16世紀初頭)
26		三彩宝相華文五耳壺	愛知県陶磁美術館蔵	明時代 (16世紀－17世紀)
27		鉄釉四耳壺	愛知県陶磁美術館蔵	室町時代 (1531年)
28		天目茶碗	愛知県陶磁美術館蔵	室町時代 (15世紀)
29		肩衝茶入	愛知県陶磁美術館蔵	室町時代 (15世紀)
30		志野たんぽぽ文向付	愛知県陶磁美術館蔵	桃山時代 (16世紀)

サテライト展示

会　　場：稲沢市荻須記念美術館

会　　期：2013年７月４日（木）～ ３月23日（日）

「愛知県美術館サテライト展示」

所蔵作品２点

番号	作家名	作品名	制作年
1	荻須高徳	サン・ドニ	1964年
2	荻須高徳	線路に沿った家	1955年

会　　場：田原市博物館

会　　期：2013年８月11日（土）～ ９月23日（日）

「愛知県美術館サテライト展示　東三河ゆかりの作家」

所蔵作品 12点

番号	作家名	作品名	制作年	備　考
1	伊藤勲志	鳥	1967年	
2	小川　智	蝙蝠の翔ぶ風景	1978年	
3	伊東隆雄	地引網	1962年	
4	森　緑翠	蘇州追憶	1980年	
5	嶋谷自然	磯	1990年	
6	中村正義	ピエロ	1963年	
7	中村正義	舞妓	1974年	
8	星野眞吾	正夢か	1981年	
9	尾崎良二	残照の海	1975年	前期展示（8/11まで）
10	尾崎良二	惜陽の海（伊良湖）	1975年	木村定三コレクション後期展示（8/13から）
11	尾崎良二	伊良湖 恋路ヶ浜		木村定三コレクション後期展示（8/13から）
12	尾崎良二	岬の茅花（伊良湖）		木村定三コレクション後期展示（8/13から）

会　　場：豊橋市二川宿本陣資料館

会　　期：2013年10月５日（土）～ 11月17日（日）

「川瀬巴水展」

所蔵作品 73点

番号	作　家　名	作　品　名	制作年
1	川瀬巴水	井之頭の残雪	1920年
2	川瀬巴水	金沢ながれのくるわ	1920年
3	川瀬巴水	三十間堀の暮雪	1920年
4	川瀬巴水	晴天の之（宮島）	1921年頃
5	川瀬巴水	天草本渡祇園橋	1924年
6	川瀬巴水	出雲美保ヶ関	1924年
7	川瀬巴水	大坂高津	1924年
8	川瀬巴水	加賀八田（秋の虹）	1924年
9	川瀬巴水	飛騨中山七里（雪中）	1924年
10	川瀬巴水	芝増上寺（雪中）	1925年
11	川瀬巴水	御茶の水	1926年
12	川瀬巴水	大根河岸の朝	1927年
13	川瀬巴水	大坂天王寺	1927年
14	川瀬巴水	尾州亀崎	1928年
15	川瀬巴水	桔梗門	1929年
16	川瀬巴水	不忍池之雨	1929年
17	川瀬巴水	月島の雪	1930年
18	川瀬巴水	馬込の月	1930年
19	川瀬巴水	大宮見沼川（とびかう螢）	1930年
20	川瀬巴水	市川の晩秋	1930年
21	川瀬巴水	清洲橋	1931年
22	川瀬巴水	品川	1931年
23	川瀬巴水	井之頭の春の夜	1931年
24	川瀬巴水	雪の向島	1931年
25	川瀬巴水	目黒不動堂	1931年
26	川瀬巴水	相州前川の雨	1932年
27	川瀬巴水	名古屋城	1932年
28	川瀬巴水	湖畔之雨（松江）	1932年
29	川瀬巴水	春の雪（京都清水）	1932年
30	川瀬巴水	札幌中島之夕月	1933年
31	川瀬巴水	大坂宗右衛門町乃夕	1933年
32	川瀬巴水	奈良春日神社	1933年
33	川瀬巴水	尾州瀬戸	1934年
34	川瀬巴水	讃岐海岸寺の浜	1934年
35	川瀬巴水	讃州豊浜	1936年
36	川瀬巴水	鳴沢之富士	1936年
37	川瀬巴水	田子の浦の夕	1940年
38	川瀬巴水	朝鮮智異山泉隠寺	1940年
39	川瀬巴水	信州木崎湖	1941年
40	川瀬巴水	信州松原湖	1941年
41	川瀬巴水	東海道　日坂	1942年
42	川瀬巴水	忍野の富士	1942年
43	川瀬巴水	吉田の雪晴	1944年
44	川瀬巴水	塩原畑下	1946年
45	川瀬巴水	水戸涸沼広浦	1946年
46	川瀬巴水	岡山之かねつき堂	1947年
47	川瀬巴水	河原子の夜の雨	1947年
48	川瀬巴水	水戸涸沼の雪	1947年
49	川瀬巴水	みのくに谷汲寺	1947年
50	川瀬巴水	宮島の月夜	1947年
51	川瀬巴水	春の夕	1948年
52	川瀬巴水	京都大原三千院	1949年
53	川瀬巴水	塩原猿岩	1949年
54	川瀬巴水	清水寺の暮雪	1950年
55	川瀬巴水	塩原の秋（天狗岩の下）	1950年
56	川瀬巴水	大和壺坂寺	1950年
57	川瀬巴水	大和初瀬寺	1950年
58	川瀬巴水	吉野川　柳の堀	1950年
59	川瀬巴水	時雨のあと（京都南禅寺）	1951年
60	川瀬巴水	明治神宮　菖蒲田	1951年
61	川瀬巴水	五浦之月	1952年

番号	作　家　名	作　品　名	制作年
62	川瀬巴水	大手門之春之夕暮	1952年
63	川瀬巴水	桜田門の春雨	1952年
64	川瀬巴水	野火止　平林寺	1952年
65	川瀬巴水	富士之雪晴（忍野附近）	1952年
66	川瀬巴水	舟津の秋	1953年
67	川瀬巴水	松山城　名月	1953年
68	川瀬巴水	鵜飼（長良川）	1954年
69	川瀬巴水	勿来の夕	1954年
70	川瀬巴水	塩原畑下之雨	1955年
71	川瀬巴水	子の山の夕暮（埼玉県）	1955年
72	川瀬巴水	法隆寺西里	1956年
73	川瀬巴水	平泉金色堂	1957年

愛知県陶磁美術館における長期展示

2008年度以降、愛知県陶磁美術館常設展で長期展示を行っている。2013年度は12点を公開した。

入場者数：22,923人

復興支援展

福島県の郡山市立美術館からの要望に応え、東日本大震災に対する復興支援として、クリムト《人生は戦いなり（黄金の騎士）》をはじめとする所蔵作品66点による展覧会を開催した。優れた美術作品の持つ力によって、被災した方々の心を癒し、未来へ進んでいただきたいとの願いを込め、「日本人と自然」、「鎮魂、祈り、そして未来へ」というテーマに基づいて作品を選んだ。

名　　称：震災復興支援　愛知県美術館所蔵作品展 「黄金の騎士、北へ」

会　　期：2013年８月31日（土）～10月20日（日） 44日間

主　　催：郡山市立美術館・愛知県美術館

特別協力：全国美術館会議

観覧者数：6,319人（うち中学生以下1,232人）

展示作品

番号	作　者　名	作　品　名	制作年
1	英一蝶	朝顔に日傘図	18世紀前半
2	酒井抱一	鳴子に雀図	19世紀前半
3	田中訥言	雪月花図	19世紀前半
4	与謝蕪村	紫陽花にほととぎす図	18世紀後半
5	呉春	青梅図	18世紀末～19世紀初
6	仙厓義梵	趙州狗子図	18世紀後半～19世紀前半
7	浦上玉堂	閣日微陰図	19世紀初
8	横山大観	牡丹	1921年頃
9	菱田春草	紅葉山水	1908年頃
10	小茂田青樹	漁村早春	1921年
11	小川芋銭	若葉に蒸さるる木精	1921年
12	小川芋銭	水虎とその眷族	1921年
13	川合玉堂	湖畔晩帰	1928年
14	工藤甲人	坐忘	1982年
15	山本丘人	幻雪	1978年
16	平川敏夫	樹焔	1960年代
17	東山魁夷	雪の山郷	1991年
18	高橋由一	不忍池	1880年頃
19	浅井忠	八王子付近の街	1887年
20	黒田清輝	暖き日	1897年
21	小出楢重	蔬菜静物	1925年
22	久米桂一郎	秋景	1892年
23	大沢鉦一郎	大曽根風景	1919年
24	須田国太郎	夏	1942年
25	田渕俊夫	初夏	1974年
26	池田遥邨	稲掛け	1981年
27	中村彝	静物	1915年頃
28	熊谷守一	蒲公英に蝦蟆	1938年
29	熊谷守一	白仔猫	1958年
30	熊谷守一	石亀	1957年
31	白隠慧鶴	寿老人図	18世紀
32	村瀬太乙	十六羅漢図・鬼の念仏図	19世紀
33	山本梅逸	蓬莱山水図	1837年
34	喜田華堂	盆踊図	1868年
35	村上華岳	散華	1939年
36	安田靫彦	月の兎	1934年
37	杉本健吉	阿修羅像	1958年
38	香月泰男	ナホトカ	1961年
39	香月泰男	風船売り	1960年
40	須田剋太	東大寺	1981年
41	長谷川利行	酒売場	1927年
42	古賀春江	夏山	1927年
43	岡鹿之助	窓	1949年
44	瑛九	黄色い花	1957－58年
45	岸田劉生	高須光治君之肖像	1915年
46	木村荘八	壺を持つ女	1915年
47	河野通勢	自画像	1917年
48	大沢鉦一郎	ジンベを着た少女	1920年
49	宮脇晴	自画像	1920年
50	椿貞雄	菊子像	1921年
51	神原泰	生命の流動	1924年
52	難波田龍起	萌	1961年
53	佐藤敬	石の記録	1965年
54	棟方志功	華狩頌	1954年
55	浜田知明	版画集『曇後晴』より　顔	1976年
56	浜田知明	版画集『曇後晴』より　かげ	1977年
57	浜田知明	版画集『曇後晴』より　家族	1977年
58	荒木高子	砂の聖書	1983年
59	工藤哲巳	無限の糸の中のマルセル・デュシャン	1977年
60	パウル・クレー	回心した女の堕落	1939年
61	アンリ・マティス	待つ	1921－22年
62	ポール・デルヴォー	こだま	1943年
63	ジャック・ヴィヨン	存在	1920年
64	グスタフ・クリムト	人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903年
65	ケーテ・コルヴィッツ	青い服の女工	1903年
66	ケーテ・コルヴィッツ	畠を耕す者	1906年

2　企画展

企画展の入場者数（1992年度から2013年度・展覧会別）

年　度	展　覧　会　タ　イ　ト　ル	会　　期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画－西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	年度合計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸 1950－1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靫彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵－バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙　クプカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	年度合計			288	274,191	952
	累　　計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展　－近代絵画の 100年－	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,348
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち　後期ゴシックの木彫と板絵 －アーヘン市立ズエルモント=ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年　香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュー・ワイエス展－アメリカの郷愁　心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	年度合計			222	306,882	1,382
	累　　計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流－日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵　レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラー建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
	年度合計			256	172,733	675
	累　　計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展－アメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展－理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	659
	北川民次展－愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	565
	カンディンスキーとミュンター　愛と創造の日々　1901－1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年　ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
	年度合計			246	181,432	738
	累　　計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト　北脇　昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父　ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険　－セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで－ アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術　1945－1995　－見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年－愛知県美術館コレクションの精華－	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展　－めぐりゆく季節－	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
	年度合計			240	208,196	868
	累　　計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展－鉄の絵画と布の彫刻－	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラの虹を越えて…　オルブライト=ノックス美術館展　名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念　佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年　松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエッロ　借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	年度合計			226	173,333	767
	累　　計			1,583	1,395,861	882
99年度	魔法の庭…詩とかたちのフーガ「ファウスト・メロッティ展」	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術　－詩情と造形－	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画　1930－1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年　関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
	セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899
	年度合計			227	230,623	1,016
	累　　計			1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵　17世紀オランダ美術展	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
	加納光於展	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
	年度合計			243	202,762	834
	累　　計			2,053	1,829,246	891
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
	パックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
	ポンペイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
	年度合計			186	216,913	1,166
	累　　計			2,239	2,046,159	914

年　度	展　覧　会　タ　イ　ト　ル	会　　期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
02年度	開館10周年記念　大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念　韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念　ミロ展	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念　中西夏之展	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
	年度合計			211	133,899	635
	累　　計			2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄　森の襞の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スピリアールト展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌展	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
	年度合計			209	211,802	1,013
	累　　計			2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン展	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
	年度合計			226	123,474	546
	累　　計			2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力　－海と島が育んだ美術－	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品による ゴッホ展　－孤高の画家の原風景－	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念　吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画　－小世界を愉しむ－ 木村定三コレクションの近世絵画	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
	年度合計			216	458,765	2,124
	累　　計			3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅－東松照明の原風景－	06/06/02	06/07/23	45	18181	404
	愉しき「家」	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
	ペルシャ文明展	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1219
	ルソーの見た夢/ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	842
	年度合計			189	129,595	685
	累　　計			3,290	3,103,694	943
07年度	若冲と江戸絵画展	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1786
	20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとリサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1021
	年度合計			261	168453	830
	累　　計			3551	3272147	921
08年度	杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア　－近代日本の絵画と美術雑誌　1889～1915－	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17	08/12/23	58	12,693	209
	アンドリュー・ワイエス展　創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1132
	年度合計			202	101,204	501
	累　　計			3753	3,373,351	898
09年度	アヴァンギャルド・チャイナ〈中国当代美術〉二十年	09/04/03	09/05/24	45	11,051	245
	生活と芸術　アーツ&クラフツ展　ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	619
	あいちトリエンナーレ2010　プレイベント 放課後のはらっぱ　櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	268
	日本の自画像　写真が描く戦後　1945－1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	320
	大ローマ展	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1976
	年度合計			251	199,167	793
	累　　計			4004	3,572,518	892
10年度	小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	220
	あいちトリエンナーレ2010	10/08/21	10/10/31	72	300,878	4,179
	レンバッハハウス美術館所蔵　カンディンスキーと青騎士	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419
	年度合計			165	332,132	2,013
	累　　計			4,169	3,904,650	937
11年度	麻生三郎	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
	棟方志功　祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
	島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
	生誕100年　ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
	年度合計			186	114,910	618
	累　　計			4,355	4,019,560	923
12年度	魔術／美術	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
	マックス・エルンスト－フィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
	生誕150年記念クリムト　黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
	円山応挙展	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
	年度合計			194	200,021	1,164
	累　　計			4,549	4,219,581	1,043
13年度	プーシキン美術館展	13/04/26	13/06/23	52	123,915	2,383
	あいちトレエンナーレ2013	13/08/10	13/10/27	72	175,672	2,440
	印象を超えて－点描の画家たち	14/02/25	14/04/06	39	78,666	2,017
	年度合計			163	378,253	6,840
	累　　計			4,712	4,597,834	975

企画展の開催状況（2013（平成25）年度）

プーシキン美術館展　フランス絵画300年

会　　期：2013年４月26日（金）～ ６月23日（日）
主　　催：愛知県美術館、朝日新聞社、メ～テレ、プーシキン美術館、ロシア連邦文化省
後　　援：外務省、ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会　岐阜新聞・岐阜放送、ZIP-FM
特別協賛：東海東京証券
協　　賛：三井物産、トヨタ自動車、日本製紙、大日本印刷
担　　当：森美樹、副田一穂
休 館 日：毎週月曜日（ただし、４月29日［月・祝］、５月６日［月・振］は開館）、5月7日（火）
観 覧 料：先行前売ペアチケット2,000円（一般２枚、切り離し使用可）
一般1,300（1,100）円、高大生1,000（800）円　中学生以下無料
（　）内は前売り、及び20名以上の団体料金
出品点数：66点
入場者数：123,915人
展覧会巡回先：横浜美術館　2013年７月６日～ ９月16日（337,240人）
神戸市博物館　2013年９月28日～ 12月６日（183,480人）

内容と結果：

ロシアのプーシキン美術館のコレクションを紹介する展覧会。コレクションの代表的な作品により、17世紀から20世紀までのフランス美術を史の流れを紹介した。

展示空間は66点の絵画のみということで、会場をヨーロッパの雰囲気に仕立て、鑑賞者が作品世界に浸れる空間作りを工夫した。

共催者の朝日新聞社とメ～テレと協力し、広報展開を充実させた。単にチラシやポスターを制作するだけではなく、開催前からSNS上で様々なイベントを立ち上げ、一般の方々を巻き込むような展開を行った。結果的に多くの来場者を迎え、クオリティーの高いフランス絵画を鑑賞してもらうことができた。

展覧会カタログ：
A４変形（29.7×22.5cm）　199ページ
編　　集：横浜美術館、愛知県美術館、神戸市博物館、朝日新聞社企画事業本部文化事業部
制　　作：D_CODE
発　　行：朝日新聞社

関連事業：

1　記念講演会

第１回　（参加人数　220名）
場　所：アートスペースＡ（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2013年５月18日（土）13：30－15：00
講　師：池田理代子
聞き手：杉山奈生子
演　題：「ロシアが愛したフランス絵画」

第２回　（参加人数　198名）
場　所：アートスペースＡ（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2013年５月30日（木）13：30－15：00
講　師：亀山邦夫
演　題：「フランスを仰ぐ 《パリ・モスクワ》の300年」

2　スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第１回　（参加人数　55名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2013年５月11日（土）11：00－11：40
講　師：森美樹（学芸員）

第２回　（参加人数　45名）
場　所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター12階）

日　時：2013年５月24日（金）18：30－19：10
講　師：森美樹（学芸員）

第３回　（参加人数　65名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター12階）
日　時：2013年６月１日（土）11：00－11：40
講　師：副田一穂（学芸員）

第４回　（参加人数　60名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター12階）
日　時：2013年６月15日（土）11：00－11：40
講　師：副田一穂（学芸員）

3　友の会会員のための特別鑑賞会
場　所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）
日　時：2013年５月９日（木）
午前の部　10：00－11：30（参加人数28名）
午後の部　17：30－19：00（参加人数61名）
担　当：森美樹（学芸員）

4　先生方との鑑賞学習交流会（参加人数37人）
日　時：2013年４月27日（土）13：30－15：00
主　催：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター12階）

関連記事：
・「ルノワールの傑作、来日へ」『朝日新聞』朝刊　2012年10月５日
・「ロシアに集った傑作」『朝日新聞』朝刊　2013年１月５日
・三浦　　篤「ロシア　美への情熱」『朝日新聞』朝刊　2013年２月23日
・「ロシアが愛した名画たち」『朝日新聞』朝刊　2013年４月６日
・「プーシキン美術館展　ルネサンス礎に築いた美をたどる」『朝日新聞』朝刊　2013年４月17日
・「ばら色の微笑」『朝日新聞』朝刊　2013年４月24日
・原　知恵子「名が輸送細やかテク」『朝日新聞』　2013年４月26日
・「きょうあえるね」「日本のみなさん、はじめまして」『朝日新聞』　朝刊　2013年４月26日
・「ジャンヌの笑顔に癒され」『朝日新聞』朝刊　2013年４月27日
・「来場者　３万人突破」『朝日新聞』朝刊　2013年５月13日
・諏訪　哲史「エロティシズムと聖性」『中日新聞』朝刊　2013年５月14日

・原　知恵子「名画とコラボ　人気上々」『朝日新聞』夕刊　2013年５月14日
・原　知恵子「金曜の夜　ゆったり鑑賞」『朝日新聞』夕刊　2013年５月15日
・原　知恵子「もっと！プーシキン美術館」『朝日新聞』夕刊　2013年５月16日～６月13日
・「池田理代子さん講演」『朝日新聞』朝刊　2013年５月19日
・「名画の裏に物語」『朝日新聞』朝刊　2013年５月25日
・「来場５万人」『朝日新聞』朝刊　2013年５月26日
・「心に入る作品を受け入れている」『朝日新聞』朝刊　2013年５月31日
・「原田マハ　プーシキン名画の余韻」（５回）『朝日新聞』夕刊　2013年６月３日～６月７日
・高橋　昌宏「マハ流　絵と話そう」『朝日新聞』朝刊　2013年６月７日
・高橋　昌宏「ロシア変えたフランス」『朝日新聞』夕刊　2013年６月11日

「印象派を超えて－点描の画家たち　ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」展

会　　期：2014年２月25日（火）～ ４月６日（日）
主　　催：愛知県美術館、NHK名古屋放送局、NHKプラネット中部、中日新聞社
共　　催：クレラー＝ミュラー美術館
後　　援：オランダ王国大使館、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
協　　賛：東海東京証券、損保ジャパン
協　　力：KLMオランダ航空、JR東海、近畿日本鉄道
担　　当：中西園子、副田一穂
休 館 日：３月３日（月）、３月17日（月）
観 覧 料：一般1,400（1,200）円、高大生1,000（800）円　中学生以下無料
（　）内は前売り、及び20名以上の団体料金
出品点数：92点
入場者数：78,666人
展覧会巡回先：国立新美術館　2013年10月４日～12月23日（182,744人）
広島県立美術館　2014年１月２日～ ２月16日（28,818人）

内容と結果：

オランダのクレラー＝ミュラー美術館の所蔵作品を中心に、国内の作品も加えた展覧会。1880年代フランスにおいて確立された新印象派の点描技法と、その地域と様式をまたぐ影響を展観した。「分割主義」をテーマとした本展は、同美術館から、新印象派の中心となるスーラ、シニャックの名品、また同美術館の誇るファン・ゴッホの名品、オランダ、ベルギーの点描の作品、モンドリアンの抽象絵画にまでいたる幅広い作品群を通じて、新印象派の色彩における探究が、現代美術にまで影響を及ぼす重要性を持っていたことを紹介した。

「分割主義」というテーマが難解すぎるのではとの懸念もあったが、来場者が展覧会の内容をよく理解し、有名作家の作品だけでなく、それぞれの作品を存分に楽しんでいた様子がうかがえた。いわゆる有名美術館の名品展とは異なり、その美術館のコレクションの特徴を生かしつつ、観覧者の美術史理解にも新しい視点をもたらすことのできる展覧会であった。同時に、関連イベントも通常よりも多く企画・実施し、共催メディアの努力もあって、集客についてもほぼ目標に近い数を達成することができた。

展覧会カタログ：
A４変形（29.5×22.9cm）　212ページ
編　　集：クレラー＝ミュラー美術館、国立新美術館、広島県立美術館、愛知県美術館、東京新聞、NHK、NHKプロモーション
制　　作：コギト
発　　行：東京新聞、NHK、NHKプロモーション

関連事業：

1　記念講演会　（参加人数　163名）
場　所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2014年３月15日（土）13：30－15：00
講　師：加藤有希子（埼玉大学准教授）
演　題：「点描―近代から現代への新しいかたち―」

2　スライドトーク（学芸員による展示説明会）
第１回　（参加人数　55名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2014年３月８日（土）11：00－11：40
講　師：中西園子（学芸員）

第２回　（参加人数　34名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2014年３月16日（日）11：00－11：40
講　師：副田一穂（学芸員）

第３回　（参加人数　31名）
場　所：アートスペースE･F（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2014年３月21日（金・祝）11：00－11：40
講　師：中西園子（学芸員）

3　友の会会員のための特別鑑賞会
場　所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター 12階）
日　時：2014年３月６日（木）
午前の部　10：30－12：00（参加人数26名）
午後の部　17：30－19：00（参加人数48名）
担　当：中西園子（学芸員）

4　子どものためのワークショップ　（参加人数　①21名②19名）

日　時：2014年３月９日（日）

①　年中児・年長児対象　10：30－12：30

②　小学生対象　14：00～16：00

講　師：山口百子（美術家）

場　所：愛知県美術館展示室および愛知芸術文化センター 12階

5　NHK名古屋放送局テレビ放送開始60年記念
NHKミュージアムナイト

「井浦さんと語る　点描の画家たち」（参加人数248名）

日　時：2014年２月28日（金）17：30－19：00

場　所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）

出　演：井浦新（俳優）、中西園子（愛知県美術館学芸員）

司　会：黒沢保裕（NHK名古屋放送局アナウンサー）

主　催：NHK名古屋放送局、愛知県美術館

「ゴッホの手紙を読む」（参加人数65名）

日　時：2014年３月７日（金）17：30－19：00

場　所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター 12階）

解　説：中西園子（愛知県美術館学芸員）

司会・朗読：山本志保（NHK名古屋放送局アナウンサー）

主　催：NHK名古屋放送局、愛知県美術館

「ラジオ深夜便　川野アンカーのナイトトーク」
（参加人数73名）

日　時：2014年３月14日（金）17：30－19：00

場　所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）

出　演：川野一宇（「ラジオ深夜便」アンカー）

解　説：中西園子（愛知県美術館学芸員）

主　催：NHK名古屋放送局、愛知県美術館

関連記事：

・茂木健一郎「響き合う個性の素晴らしさ」『中日新聞』朝刊　2014年２月20日

・三浦しをん「点描の画家たち展　お気に入りの作品（上）」『中日新聞』朝刊　2014年２月25日

・姜　尚中「点描の画家たち展　お気に入りの作品（中）」『中日新聞』朝刊　2014年２月26日

・武田　邦彦「点描の画家たち展　お気に入りの作品（下）」『中日新聞』朝刊　2014年２月27日

・千住真理子「点描の画家たち展　私の一点『レストランの内部』」『中日新聞』朝刊　2014年３月４日

・絹谷　幸二「点描の画家たち展　私の一点『マルセイユ港の入口』」『中日新聞』朝刊　2014年３月５日

・二村　雄次「点描の画たち展　私の一点『麦束のある月の出の風景』」『中日新聞』朝刊　2014年３月６日

・小錦八十吉「点描の画家たち展　私の一点『鋳鉄工場』」『中日新聞』朝刊　2014年３月７日

・井浦　新「点描の画家たち展　私の一点『ポール＝アン＝ベッサンの日曜日』」『中日新聞』朝刊　2014年３月12日

・石屋　法道「画家・鈴木順一さんに聞く点描画の世界」『中日新聞』朝刊　2014年３月18日

・「点描画　表現の変遷」『読売新聞』朝刊　2014年４月３日

・中西　園子「印象派を超えて　分割された色彩のゆくえ」『AAC』vol.78 2013年12月、pp.1-2

・中西　園子「クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に　印象派を超えて―点描の画家たち　ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」『新美術新聞』1338号　2014年３月11日

3　関連事業

あいちトリエンナーレ2013（国際芸術祭）

会　　期：2013年８月10日（土）～10月27日（日）
主　　催：あいちトリエンナーレ実行委員会
後　　援：アメリカ大使館／インドネシア大使館／イスラエル大使館／オランダ王国大使館／フランス大使館
特別協力：独立行政法人国際交流基金
愛知県美術館兼務担当者：中村史子、塩津青夏、副田一穂（企画部門）、藤島美菜（普及教育部門）
入場者数：479,847人（パフォーミングアーツ等を除いた国際美術展の入場者合計）
内容：

芸術監督に五十嵐太郎氏を迎え、「揺れる大地―われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活」というテーマのもと開催された。社会経済情勢が大きく変化し、既成の枠組みが大きく変動する時代にあって、改めて自分自身の立っている場所＝アイデンティティを確認し、同時にその場所の記憶を呼び戻し、アートの力により希望を復活させたい。こうした五十嵐太郎芸術監督による強い思いが込められた内容となった。

会期中には、国内外122組の参加アーティストによる先端的な現代美術やパフォーミングアーツの他、オペラの上演など様々なプログラムを展開した。また、「キッズトリエンナーレ」や「パブリック・プログラム」など、数々の普及・教育プログラムも実施した。

会場は、前回同様の愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町、納屋橋を中心とした名古屋市内での展開に加え、今回新たに、岡崎市内に東岡崎駅、康生、松本町の３会場を設けた。また、豊橋・春日井・知多・東栄の４市町でも移動型展示「モバイル・トリエンナーレ」を実施し、愛知県内での広域展開を図った。

作家や作品の選定においては、建築的な視点をふんだんに取り入れ、建築物の公開イベント「オープンアーキテクチャー」などの建築関連プロジェクトも今回の大きな特徴となった。

なお、関連事業として、各種トークやシンポジウム、イベントに当館学芸員も関わったほか、視覚に障がいのある方に向けた鑑賞会や学校の教員との協力による児童向け鑑賞会など、美術館が主体的に行った事業もあった。

＊助成、協賛、協力、会場提供、認定、関連事業、関連記事、カタログ等の発行物については、全てを表記することが困難なため、ここでは省いている。
＊休館日及び観覧料が、会場や企画毎によって異なるため、ここでは省いている。

4　教育普及

教育普及事業の実施状況（2013（平成25）年度）

美術館では、社会の多様なニーズに応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する県政お届け講座の一環として「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。鑑賞学習ワーキンググループの教員と協力して、小・中学生向けの鑑賞プログラム「現代アートとあくしゅ　アートにはくしゅ」をあいちトリエンナーレ2013の会場で開催した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会などを開いた一方、友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業、モニター協力などの支援を受けた。

また、平成23年度から継続して文化庁の助成を受け、平成25年度は「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の補助金により、「愛知県鑑賞学習普及事業」を実施した。幼児から低学年向け、視覚に障がいのある児童・生徒向けを中心とする各事業を行った。各事業では、外部の講師の協力を得て、ワークショップを実施した。また、視覚に障がいのある児童・生徒向けの事業では、県内の美術館の協力を得て、鑑賞冊子（点字本）を作成し、またアーティストの協力を得て、鑑賞ツールを制作して県内の盲学校に配布した。このほか、教員の協力を得て、鑑賞学習補助ツール「あいパックプラス」を作成し、県内小・中学校に配付した。また、教員や美術館関係者等を対象に、当地域の美術教育の現状報告とディスカッションによるシンポジウムを開催した。

出版・発行

企画展に関するもの

○「プーシキン美術館展　フランス絵画300年」

カタログ

A４変形（29.7×22.5cm）　199ページ

編集　横浜美術館、愛知県美術館、神戸市博物館、
　　朝日新聞社企画事業本部文化事業部

制作　D_CODE

発行　朝日新聞社

「プーシキン美術館のフランス絵画―コレクションとコレクター」

アンナ・スディモワ

アレクセイ・ペトゥホフ

第１章　17-18世紀―古典主義、ロココ

第２章　19世紀前半―新古典主義、ロマン主義、自然主義

第３章　19世紀後半―印象主義、ポスト印象主義

第４章　20世紀フォーヴィスム、キュビスム、エコール・ド・パリ

「聖と俗の図像　西洋絵画に見る肖像―「プーシキン美術館展」出品作を中心に」　松永真太郎

「野生と文明の間で―ゴーギャンをめぐる物語」　岡康正

「アンリ　・マティス―静物画・室内画に描かれた布の模様について」　森美樹

「プーシキン美術館の〈収蔵品〉―美術館とコレクターたちの歴史」　坂本恭子

「プーシキン美術館展　関連用語解説／主な画家、コレクターの生没年」　副田一穂

出品リスト

プーシキン美術館展・カタログ表紙

鑑賞ガイド〔作家作品解説〕　Ｄ３版二つ折り

プーシキン美術館展・鑑賞ガイド

○「印象派を超えて―点描の画家たち　ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」展

カタログ

A４変形（29.5×22.9cm）　212ページ

編集　クレラー＝ミュラー美術館、国立新美術館、広島県立美術館、愛知県美術館、東京新聞、NHK、NHKプロモーション

制作　コギト

発行　東京新聞、NHK、NHKプロモーション

「分割主義—その理念と実践から」 長屋光枝
「ヘレーネ・クレラー＝ミュラーとその分割主義コレクションの形成」 リースベス・ヘーンク
カタログ
Ⅰ．印象派の筆触
「印象派の筆触」 長屋光枝
Ⅱ．スーラとシニャック—分割主義の誕生と展開
「ジョルジュ・スーラと分割主義の起源」 リースベス・ヘーンク
「分割主義の発展におけるポール・シニャックの役割」 リースベス・ヘーンク
Ⅲ．ゴッホと分割主義
「ファン・ゴッホと分割主義」 リースベス・ヘーンク
Ⅳ．ベルギーとオランダの分割主義
「ベルギーとオランダの分割主義」 リースベス・ヘーンク
Ⅴ．モンドリアン—究極の帰結
「究極の到達点：ピート・モンドリアン」 リースベス・ヘーンク
「ジョルジュ・スーラと色彩の科学」 米田尚輝
関連年表
関連地図
主要文献目録
出品作品リスト
画家別索引

印象派を超えて展・カタログ表紙

鑑賞ガイド（作家作品解説） A３二つ折り

印象派を超えて展・鑑賞ガイド

APMoA Project, ARCHに関するもの

パンフレット

○vol. 6　藤永覚耶「空即是色」

Ｂ４判　二つ折り４ページ（2,000部）
テキスト：中西園子（学芸員）「ゆらぐ色彩に身をゆだねて」
デザイン：伊藤敦志（AIRS）
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

APMoA Project, ARCH vol. 6 パンフレット表紙

○vol. 7　濱口直巳「音景no. 7—APMoAの場合」

Ｂ４判　両面１ページ（2,000部）
テキスト：大島徹也（主任学芸員）「濱口直巳—静寂の向こうがわ」
デザイン：伊藤敦志（AIRS）
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

APMoA Project, ARCH vol. 7 パンフレット表紙

○vol. 8　久保智史「Everyday」

Ｂ４判　二ツ折４ページ（2,000部）
テキスト：塩津青夏（学芸員）「久保智史の絵画」
デザイン：平井秀和
撮　　影：林育正
発　　行：愛知県美術館

APMoA Project, ARCH vol. 8 パンフレット表紙

コレクション展に関するもの

○コレクション展　作品リスト

第１期　　展示作品リスト　　Ａ３二つ折り
第２期　　展示作品リスト　　Ａ３二つ折り
第３期　　展示作品リスト　　Ａ３二つ折り
（「アイチのチカラ！戦後愛知のアート、70年の歩み」展含む）
第４期　　展示作品リスト　　Ａ３二つ折り
第５期　　展示作品リスト　　Ａ３二つ折り

○鑑賞カード

新規：ポール・ゴーギャン《海岸の岩／木靴職人》（一般）
ポール・ゴーギャン《海岸の岩／木靴職人》（小１－３）
ポール・ゴーギャン《海岸の岩／木靴職人》（小４－６）
フェルナン・レジェ《緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）》
戸張孤雁《曇り》
増刷：パウル・クレー《女の館》
瑛九《黄色い花》
熊谷守一《蒲公英に蝦蟇》

鑑賞カード

○研究紀要・年報

愛知県美術館研究紀要第20号　Ｂ５判68頁
愛知県美術館年報　　第21号　Ａ４判62頁

研究紀要

年報

○愛知県美術館鑑賞学習補助ツール（ツール写真は、46頁参照）

・「あいパックプラス」（専用箱入り　34×17×3cm）
（内訳：アートカードＡ６判　20枚６セット、あいパックプラスガイドＡ５判　20頁
ぴったりカード　（色・感じ　Ａ４判４種６セット）
・『びじゅつかんからやってきた　さわるアートブック②』（点字本）Ａ４判16頁
・視覚障害者向け鑑賞学習補助ツール　熊谷守一《たまご》（油彩、レリーフ、お盆、たまご（石膏））

木村定三コレクションに関するもの

○カタログ

分野別カタログ『茶道具　金属工芸・竹工芸を中心に』
Ａ４判133頁

○研究紀要・研究報告書

愛知県美術館研究紀要第20号　木村定三コレクション編
Ｂ５判63頁

カタログ

研究紀要

講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等

企画展に関するもの

○「プーシキン美術館」展

記念講演会

・2013年５月18日（土）13：30 ～ 15：00　220名

講　師：池田理代子（漫画家・オペラ歌手）

聞き手：杉山奈生子（愛知産業大学准教授）

演　題：「ロシアが愛したフランス絵画」

「プーシキン美術館」展記念講演会

・2013年５月30日（木）13：30 ～ 15：00　198名

講　師：亀山邦夫（名古屋外国語大学学長）

演　題：「フランスを仰ぐ 《パリ・モスクワ》の300年」

展示説明会

2013年５月18日（土）森美樹（学芸員）　55名

５月24日（金）森美樹（学芸員）　45名

６月１日（土）副田一穂（学芸員）　65名

６月15日（土）副田一穂（学芸員）　60名

○「印象派を超えて　点描の画家たち　ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」展

記念講演会

2014年３月15日（土）13：30 ～ 15：00　163名

講　師：加藤有希子（埼玉大学准教授）

演　題：「点描―近代から現代への新しいかたち」

「印象派を超えて」展記念講演会

展示説明会（スライドトーク）延べ120名

2014年３月８日（土）中西園子（学芸員）　55名

３月16日（日）副田一穂（学芸員）　34名

３月21日（金・祝）中西園子（学芸員）　31名

子どものためのワークショップ

2014年３月９日（日）10：30 ～ 12：30

年中児・年長児　21名

14：00 ～ 16：00　小学生　19名

○NHK名古屋放送局テレビ放送開始60年記念

NHKミュージアムナイト

主　催：NHK名古屋放送局、愛知県美術館

・「井浦さんと語る　点描の画家たち」

2014年２月28日（金）17：30 ～ 19：00　248名

場　所：アートスペースＡ（愛知芸術文化センター 12階）

出　演：井浦新（俳優）、中西園子（学芸員）

司　会：黒沢保裕（NHK名古屋放送局アナウンサー）

・「ゴッホの手紙を読む」

2014年３月７日（金）17：30 ～ 19：00　65名

場　所：アートスペースE・F（愛知芸術文化センター 12階）

解　説：中西園子（学芸員）

司会・朗読：山本志保（NHK名古屋放送局アナウンサー）

・「ラジオ深夜便　川野アンカーのナイトトーク」　73名

2014年３月14日（金）17：30 ～ 19：00

場　所：アートスペースＡ（愛知芸術文化センター 12階）

出　演：川野一宇（「ラジオ深夜便」アンカー）

解　説：中西園子（学芸員）

コレクション展に関するもの

○「アイチのチカラ！戦後愛知のアート、70年の歩み」展

記念座談会

2013年12月14日（土）10：30 ～ 12：00　186名

演　題：「戦後愛知のアートシーン」

パネリスト：木本文平（碧南市藤井達吉現代美術館　館長）

吉田俊英（豊田市美術館　館長）

三頭谷鷹史（名古屋造形大学　特任教授）

小西信之（愛知県立芸術大学　准教授）

司　会：大島徹也　主任学芸員

「アイチのチカラ！」展記念座談会

展示説明会（ギャラリートーク）

2013年11月29日（金）大島徹也（主任学芸員）　33名
12月21日（土）大島徹也（主任学芸員）　18名
2014年１月18日（土）大島徹也（主任学芸員）　28名

○APMoA Project, ARCHに関するもの

アーティストトーク

・2013年５月４日（土・祝）13：30 ～ 15：00
藤永覚耶　司会進行：中西園子（学芸員）　19名
・2013年12月21日（土）13：00 ～ 14：40
濱口直巳　司会進行：大島徹也（主任学芸員）　26名
・2014年３月15日（土）15：00 ～ 16：30
久保智史　司会進行：塩津青夏（学芸員）　28名

○展示解説会（コレクショントーク）

・2013年５月３日（金・祝）13：00 ～ 13：40
大島徹也（主任学芸員）「継承と創造―松本陽子、中上清、小池隆英、岸本吉弘」23名
・2014年３月１日（土）13：00 ～ 13：40
高橋秀治（副館長）「時代に翻弄された二人の画家―国吉康雄と藤田嗣治」32名

○出前講座（県政お届け講座）

・日　時：2013年５月23日（木）10：00 ～ 11：30
場　所：社務所（名古屋市熱田区）
団体名：図書町ふれあい倶楽部
講　師：古田浩俊（企画業務課長）
演　題：「愛知県美術館出前講座～美術の楽しみ方、美術館の活用法」
参加数：20名

・日　時：2013年７月18日（木）10：00 ～ 11：45
場　所：尾張旭市中央公民館
団体名：尾張旭市長寿学園
講　師：古田浩俊（企画業務課長）
演　題：「愛知県美術館出前講座～美術の楽しみ方、美術館の活用法」
参加数：78名

・日　時：2013年９月12日（木）10：00 ～ 11：30
場　所：豊明市文化会館
団体名：豊明市「合同家庭教育学級」
講　師：高橋秀治（副館長）
演　題：「愛知県美術館出前講座～美術の楽しみ方、美術館の活用法」
参加者：81名

各種教育プログラム

○鑑賞学習交流会（小・中・高教員向け説明会および実践発表）

⑴　2013年４月27日（土）
「プーシキン美術館　フランス絵画300年」展解説
森美樹（学芸員）
「愛知県陶磁美術館の鑑賞普及事業について」
小川裕紀（愛知県陶磁美術館　学芸員）　37名

⑵　2013年11月30日（土）
「アイチのチカラ！」展解説
大島徹也（主任学芸員）
「高校生とトリエンナーレで見て知り考えるトーク」について
高橋承一（岩倉総合高等学校教諭）
青島やよい（菊里高等学校教諭）　25名

⑶　2014年３月１日（土）
「印象派を超えて」展解説
中西園子（学芸員）
「あいパックを使った授業実践例とワーキンググループの活動について」
岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校教諭）
寄贈図録
『誌上のユートピア展』『ライオネル・ファイニンガー展』『アンドリュー・ワイエス展』
前年度寄贈図録
『20世紀美術の森』『サイクルとリサイクル』『ロートレック展』　106名

担　当：藤島美菜（主任学芸員）、中村史子（学芸員）

鑑賞学習交流会

○鑑賞学習ワーキンググループ

2013年

⑴　４月27日（土）「今年度の活動予定報告」
「文化庁助成事業「あいパック」の作品選択等について」　12名

⑵　５月18日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の内容について」　13名

⑶　６月15日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　11名

⑷　９月７日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　15名

⑸　10月19日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　10名

⑹　11月30日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　11名

⑺　12月14日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　12名

2014年

⑻　２月１日（土）「鑑賞学習交流会・WGの来年度の方針について」　15名

⑼　３月１日（土）「文化庁助成事業「あいパック」の打合せ」　９名

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

鑑賞学習ワーキンググループ

幼児、児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施

⑴　小・中学生向けプログラム（鑑賞会・ワークショップ）

○夏休み子ども鑑賞会（写真は45頁参照）

あいちトリエンナーレ2013「現代アートとあくしゅ　アートにはくしゅ」

実施日時・対象・参加者数：

2013年９月２日（木）10：30～12：00　小学１-４年　28名
14：00～15：30　小学５-中学生　15名

講　　師：鑑賞学習ワーキンググループ教員有志、藤島美菜（主任学芸員）

⑵「幼児・児童向けイベント　印象派を超えて展「子どものためのワークショップ」

実施日時・対象・参加者数：

・「色・イロ・いろ集合！」

2014年３月９日（日）10：30～12：30　年中・年長　23名

・「今日は何色?いろいろ〝テン・てん〟してみよう」

2014年３月９日（日）14：00～16：00　小学生　22名

講　　師：山口百子（美術家）
学生アシスタント　３名

担　　当：中西園子（学芸員）、藤島美菜（主任学芸員）

「色・イロ・いろ集合！」

「今日は何色?いろいろ〝テン・てん〟してみよう」

視覚に障がいのある人を対象とした鑑賞会

○視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

・「あいちトリエンナーレ2013　視覚に障がいのある方との鑑賞会」

実施日時・対象・参加者数

2013年

９月28日（土）10：30～12：00　14名

10月３日（木）10：30～12：00　８名

内　　容：ボランティア、学芸員による解説。点字解説、立体コピー使用。

協　　力：点訳ボランティアグループ「六点会」、ボランティアガイドグループ「アートな美」

担　　当：藤島美菜（主任学芸員）

立体コピーと解説

視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

各種団体鑑賞への対応

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	920	1,281	698	340	250	0	1,320	4,809
総件数	18	25	13	9	3	0	33	101
学芸対応件数	17	7	6	6	2	0	25	63
学芸対応人数	862	585	315	247	118	0	862	2,989

美術館研修生の受け入れ指導

文化庁助成事業や教育普及事業の補助を中心とした実務の研修を行った。

・所属大学：愛知県立芸術大学、名古屋大学、名古屋芸術大学

美術館友の会との協力

⑴　友の会　特別鑑賞会

2013年５月９日（木）昼　プーシキン美術館展

森美樹（学芸員）　28名

５月９日（木）夜

森美樹（学芸員）　61名

８月21日（水）午前（名古屋市美術館）

あいちトリエンナーレ2013

拝戸雅彦（国際芸術祭推進室主任主査　トリエンナーレ実行委員会キュレーター）　51名

８月21日（水）昼

あいちトリエンナーレ2013

拝戸雅彦（国際芸術祭推進室主任主査　トリエンナーレ実行委員会キュレーター）　42名

８月21日（水）夜

拝戸雅彦（国際芸術祭推進室主任主査　トリエンナーレ実行委員会キュレーター）　43名

12月12日（木）昼　アイチのチカラ

大島徹也（主任学芸員）　16名

12月12日 (木）昼

大島徹也（主任学芸員）　33名

2014年３月６日（木）昼　印象派を超えて

中西園子（学芸員）　26名

３月６日（木）夜

中西園子（学芸員）　48名

⑵　講演、講座

2013年５月25日（土）

「あいちトリエンナーレ2013の楽しみ方」

拝戸雅彦（国際芸術祭推進室主任主査　トリエンナーレ実行委員会キュレーター）43名

12月15日（日）

「西洋美術における理想風景の系譜―ルネサンスから新印象派、象徴派まで―」

栗田秀法（名古屋大学大学院教授）41名

2014年３月22日（土）

「モナ・リザの模写から」　斎藤吾朗（独立美術協会会員　日本美術家連盟東海地区代表）44名

⑶　会報『空中回廊』の発行

平成25年12月37号：アイチのチカラ！展紹介、会員活動紹介、コレクション紹介

平成26年３月38号：印象派を超えて展紹介、会員ベスト10候補作品、会員活動紹介

『空中回廊』37号

『空中回廊』38号

平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金：地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

事業名：愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～地域に根ざした美術館活動をめざして」

期　　間：2013年７月～2014年３月

目　　的：・幼児教育と学校教育を中心とする鑑賞学習の研究
・ユニヴァーサル・ミュージアム
・学校関係者への鑑賞教育の啓発と鑑賞補助ツールの普及
・地域連携と人材育成

主　　催：愛知県鑑賞学習普及事業実行委員会

実行委員会：村田眞宏〔委員長〕（愛知県美術館館長）、藤江充〔議長〕（愛知教育大学名誉教授）、安藤修（愛知県立名古屋盲学校校長）、竹井史（愛知教育大学教授、愛知教育大学附属小学校校長）、長谷川厚一郎（一宮市立大和東小学校校長）、平川幸子（アートな美代表）、前田ちま子（名古屋芸術大学教授）、

水谷厚彦（愛知県立岡崎盲学校校長）、村上誠（常葉大学教授）

協　力　館：愛知県陶磁美術館、一宮市三岸節子記念美術館、稲沢市荻須記念美術館、おかざき世界子ども美術博物館、豊橋市美術博物館、名古屋市美術館、名古屋ボストン美術館

学生アシスタント協力大学：愛知教育大学、愛知県立芸術大学、名古屋大学

担　　当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）
中西園子（愛知県美術館学芸員）

⑴　啓発事業

○愛知県美術館鑑賞学習補助ツール「あいパック」に関する研修会の実施

日　　時：2013年７月23日（火）
場　　所：尾張旭市渋川福祉センター
研修会名：尾張旭市実技講習会「『あいパック』を使った鑑賞授業実践例」
講　　師：岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校教員）藤島美菜（主任学芸員）

・日　　時：2013年８月23日（金）
場　　所：愛知芸術文化センター
研修会名：10年経験者研修「愛知県美術館鑑賞学習補助ツール『あいパック』の説明」
講　　師：岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校教員）藤島美菜（主任学芸員）

○シンポジウムの開催

「地域と美術館をつなぐ～美術を通した学びから～」
実施日：2014年１月12日（日）13日（月・祝）
対　象：教職員、美術館関係者等

・１日目（１月12日）　参加人数：103名
司　会：松本育子（刈谷市美術館館長代理）
発表者：村上誠（常葉大学教授）
「幼児を対象とした鑑賞とアートワークショップ」
井口智子（名古屋ボストン美術館学芸部長）
「触（さわ）れるプログラム「ナンダ？」シリーズから学んだこと」
藤村俊（美濃加茂市民ミュージアム学芸員）
「身体を刺激する場としての博物館」
平川幸子（アートな美代表）
「アートでトーク～視覚に障がいのある方とともに20年」

基調講演：藤江充（愛知教育大学名誉教授）
「生涯学習時代における美術教育の課題と展望」

基調講演

・２日目（１月13日）参加人数：104名
司　会：清家三智（名古屋市美術館学芸員）
発表者：藤島美菜（主任学芸員）
「教育現場への鑑賞教育と普及」
岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校教諭）
「あいパックを使った授業実践と教員向け研修会」
浅尾知子（飛島村立小中一貫教育校飛島学園飛島小学校教頭）
「「ひろがる」「つながる」美術教育～小中一貫教育校での実践を通して～」
山田洋揮（名古屋市立柳小学校教諭）
「体感する鑑賞―アートカードの実践を通して」
鳥居信吾（愛知県立名古屋盲学校高等部教諭）
「視覚に障がいのある児童・生徒の鑑賞と創作活動」

パネルディスカッション：「美術教育を軸とした地域と美術館の連携」

進　行：杉林英彦（愛知教育大学講師）
パネリスト：岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校教諭）
小崎真（豊明市教育委員会指導主事）
前田ちま子（名古屋芸術大学教授）
藤江充（愛知教育大学名誉教授）
藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）

⑵　普及事業

（ア）幼児から小学校低学年を対象とした鑑賞会

・就学前の幼児、小学校低学年とその保護者・祖父母を対象とした鑑賞・造形ワークショップ

会　場：刈谷市美術館
講　師：竹井史（愛知教育大学教授）
担　当：藤島美菜（主任学芸員）
松本育子（刈谷市美術館館長代理）、鵜飼幸代（刈谷市美術館学芸員）、刈谷市美術館スタッフ、愛知教育大学学生

「めいろみちをつくろう」

日時・対象・参加人数：

2013年８月17日（土）10：00 ～ 12：00

年中児・年長児　32名

「めいろみちをつくろう」

「オリジナル兜をつくろう」

日時・対象・参加人数：

2013年８月17日（土）

14：00 ～ 16：00

小学１ ～ ３年生、保護者

および祖父母　15組28名

「オリジナル兜をつくろう」

（イ）小学生・中学生を対象とした鑑賞会

・あいちトリエンナーレ2013　小・中学生向けプログラム

「現代アートとはくしゅ アートにあくしゅ」

日時・対象・参加人数：

2013年９月２日（木）

10：00 ～ 11：30

小学１ ～ ４年生　28名

９月２日（木）

14：00 ～ 15：30

小学５ ～中学生　15名

会　場：

あいちトリエンナーレ2013会場（愛知芸術文化センター ８階・10階）

講　師：

愛知県美術館鑑賞学習ワーキンググループ教員有志19名

担　当：

藤島美菜（主任学芸員）

現代アートとあくしゅ アートにはくしゅ

（ウ）外部の講師によるプログラム

・「ピーン、ゆらり、ふわ、ぽわん―ぬのであそぶ」（造形ワークショップ、鑑賞）

日時・対象・参加人数：

2013年11月30日（土）・12月１日（日）２日間

10：30 ～ 12：30　年中児・年長児　22名

会　場：愛知県美術館ロビー、展示室

講　師：村上誠（常葉大学教授）

アシスタント：南陽慶子（お茶の水大学大学院）

鈴木瑛貴（お茶の水大学大学院）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

中西園子（学芸員）

・「イメージであそぼう　～つながるコトバとカラダから」（言葉、音楽、身体表現、鑑賞）

日時・対象・参加人数：

2014年１月18日（土）10：15 ～ 12：00

年中児・年長児　８名

会　場：愛知県美術館ロビー、展示室

講　師：絹川友梨（インプロワークス代表）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

「イメージであそぼう ～つながるコトバとカラダから」

・「えこども劇場「えみーる」」（パフォーマンス、造形ワークショップ、鑑賞）

日時・対象・参加人数：

2014年１月25日（土）

10：15 ～ 11：40

年少児・年中児

保護者同伴　39名

会　場：

愛知県美術館ロビー、

展示室

講　師：

北山美那子（アーティスト、えこども代表）

えこどもスタッフ　本田佳世、八重倉　歩

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

「えこども劇場「えみーる」」

視覚に障がいのある方へのプログラム

（ア）あいちトリエンナーレ2013「視覚に障がいのある方との鑑賞会」

日時・対象・参加人数：

2013年９月28日（土）10：30～12：00

高校生以上一般　14名

2013年10月３日（木）10：30～12：00

高校生以上一般　８名

協　力：アートな美ガイドボランティアグループ

六点会（点訳ボランティアグループ）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

（イ）外部の講師によるワークショップ

・「さわる、けずる、アートとの出会い」

講　師：青田真也（アーティスト）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）、中西園子（学芸員）

協　力：山本のぞみ（愛知県立芸術大学大学院生）

日時・対象・参加人数：

2013年10月24日（木）８：55～13：40

中学生　４名、小学校１・２年生　２名　中学校１・２年生　３名

会　場：愛知県立岡崎盲学校

日時・対象・参加人数：

2013年10月25日（金）８：45～14：10

高校２年生　３名、高校１年生　３名、高校１・３年生　５名、小学１・２年生　３名

会　場：愛知県立名古屋盲学校

「さわる、けずる、アートとの出会い」

・「イメージであそぼう　～つながるコトバとカラダから」（言葉、音楽、身体表現、鑑賞）

日時・対象・参加人数：

2014年１月19日（日）10：15～12：00

視覚に障がいのある児童・生徒とその家族　４組11名

会　場：愛知県美術館ロビー、展示室

講　師：絹川友梨（インプロワークス代表）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

「イメージであそぼう　～つながるコトバとカラダから」

(3)　鑑賞学習補助ツール作成事業

愛知県美術館鑑賞学習補助ツール

対　象：小学生から中学生

名　称：「あいパックプラス」

内　容：アートカードA６判　20枚６セット、あいパックプラスガイドA５判　20頁

ぴったりカード 色・言葉　A４判４種６セット）、専用箱　34×17×３cm

あいパックプラス

担　当：藤島美菜（主任学芸員）、中西園子（学芸員）

協　力：鑑賞学習ワーキンググループ有志教員

視覚に障がいのある方向けの鑑賞冊子、ツール・鑑賞冊子（点字本）

対　象：視覚に障がいのある中学生から一般

名　称：・『びじゅつかんからやってきた　さわるアートブック②』（点字本）A４判16頁

内　容：

・愛知県美術館　瑛九≪黄色い花≫　1957-58年

熊谷守一≪たまご≫　1959年

・愛知県陶磁資料館　重松あゆみ≪骨の耳　'92-11≫　1992年

・一宮市三岸節子記念美術館　三岸節子≪鳥と琴を弾く埴輪≫　1957年

・稲沢市荻須記念美術館　荻須高徳≪ヴェネツィア、大運河、カ・ダ・モスト≫　1980年

・おかざき世界子ども美術博物館　アントワーヌ・ブールデル≪弓をひくヘラクレス≫　1909年

・豊橋市美術博物館　中村正義≪薔薇≫　1968年

・名古屋市美術館　三岸好太郎≪海と射光≫　1934年

・名古屋ボストン美術館　クロード・モネ≪着物をまとうカミーユ・モネ≫　1876年

編　集：愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、一宮市三岸節子記念美術館、稲沢市荻須記念美術館、おかざき世界子ども美術博物館、豊橋市美術博物館、名古屋市美術館、名古屋ボストン美術館

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

・鑑賞ツール：立体絵画

対　象：視覚に障がいのある中学生から一般

作　品：愛知県美術館　熊谷守一≪たまご≫（木村定三コレクション）

内　容：油彩、レリーフ、お盆・たまご（石膏）、加工したたまご（石膏）

制　作：宇田もも（アーティスト）

担　当：藤島美菜（主任学芸員）

(4)　記録作成事業

報告書

サイズ・ページ数：A４版・100頁

内　容：平成25年度 愛知県鑑賞学習普及事業実施報告

調　査　研　究

所蔵作品に関すること

○村田眞宏

・「吉岡弘昭の風刺とユーモア その根底にあるもの」『吉岡弘昭 全版画 1967—2013』阿部出版　2013年９月

・「瀬戸、そしてメキシコへ」『伊藤高義回顧展』瀬戸市美術館　2013年11月

○古田浩俊

・「フランティシェク･クプカ《灰色と黄金の展開》（二）」『愛知県美術館研究紀要』20号　2014年３月

○長屋菜津子・村瀬可奈

・（編集）『（木村定三コレクション分野別図録）茶道具―金属工芸・竹工芸を中心に』2014年３月

○長屋菜津子

・章解説「第四章　鎖･釜釣」「第七章　蓋置」「第八章　水指･建水」『（木村定三コレクション分野別図録）茶道具―金属工芸・竹工芸を中心に』2014年３月

・（編集）『愛知県美術館研究紀要』『愛知県美術館研究紀要木村定三コレクション編』2014年３月

○大島徹也

・「岸本吉弘の絵画」『岸本吉弘 新作展』ギャラリー白　2013年

・（対談）岸本吉弘×大島徹也「絵について」2013年６月３日　ギャラリー白

・「松本陽子《光は荒野の中に拡散している》」『空中回廊』38号　2014年３月

○副田一穂

・「江戸時代の望遠鏡と拡張された視覚の絵画化」『愛知県美術館研究紀要』20号　2014年３月

○塩津青夏

・（APMoA Project, ARCH）「久保智史の絵画」『APMoA Project, ARCH vol. 8 久保智史 Everyday』2014年２月

○村瀬可奈

・章解説「第十章　水注」「第十一章　手焙・火鉢」「第十二章　床飾」「茶籠と皆具」『（木村定三コレクション分野別図録）茶道具―金属工芸・竹工芸を中心に』2014年３月

・「平川敏夫《黄山松雨》」『毎日新聞』中部版　2013年６月８日

・「今井瑾郎《大地》」『毎日新聞』中部版　2013年８月31日

・「安藤正子《おへその庭》」『毎日新聞』中部版　2013年11月30日

・「浦上玉堂《山紅於染図》」『毎日新聞』中部版　2014年３月１日

・「熊谷守一《猫》」『月刊美術』2013年11月号　2013年10月

展覧会等に関すること

○大島徹也

・（コレクション展）「Feel the アイチのチカラ！」『AAC』77号　2013年９月

・（APMoA Project, ARCH）「濱口直巳―静寂の向こうがわ」『APMoA Project, ARCH vol.7 濱口直巳 音景 no.7―APMoAの場合』2013年11月

○森美樹

・（企画展）「アンリ・マティス 静物画・室内画に描かれた布の模様について」章解説「第４章 20世紀―フォーヴィスム、キュビスム、エコール・ド・パリ」／作品解説『プーシキン美術館展 フランス絵画400年』図録　2013年４月

・（企画展）作品解説「フランソワ･ルモワーヌ《素描の寓意》」他17点『朝日新聞』2013年４月～６月

・（企画展）「プーシキン美術館展鑑賞ガイド」2013年４月

○副田一穂

・（企画展）関連用語解説／主な画家、コレクターの生没年『プーシキン美術館展 フランス絵画400年』図録　2013年４月

・（企画展）「プッサン《アモリびとを打ち破るヨシュア》」他17点『朝日新聞』2013年４月～６月

○中西園子

・（企画展）作品解説／参考文献『クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に 印象派を超えて―点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで』展図録　2013年10月

・（企画展）「印象派を超えて―分割された色彩の行方―」『AAC』78号　2013年12月

・（企画展）鑑賞ガイド「クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に 印象派を超えて―点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」展　2014年２月

・（企画展）「印象派を超えて―点描の画家たち」『新美術新聞』1338号　2014年３月

・（企画展）解説「NHKミュージアムナイト：ゴッホの手紙を読む」 2014年３月

教育普及活動に関すること

○高橋秀治

・（講演）「美術館はおもしろい！～見る愉しみ方、教えます～」豊明市合同家庭教育学級　2013年９月12日

○深山孝彰

・鑑賞カード「（一般向け）戸張孤雁《曇り》」2014年３月

○藤島美菜・中西園子

・（視覚障がい者向け鑑賞冊子（点字本））作家作品解説　2014年３月『びじゅつかんからやってきた さわるアートブック②』
・作家作品解説『愛知県美術館鑑賞学習補助ツール あいパックプラス』2014年３月
・（研究）平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金　地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業「愛知県鑑賞学習普及事業　子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～地域に根ざした美術館活動をめざして」2013年７月～ 2014年３月

○藤島美菜

・（研修会）名古屋市緑区図工・美術科研究部会「あいパックの実践」ユメリア徳重　2013年４月30日
・（研修会）尾張旭市実技講習会「『あいパック』を使った鑑賞授業実践例」（尾張旭市渋川小学校岡島叔子教諭との共同研修）尾張旭市渋川福祉センター　2013年７月23日
・（研修会）10年経験者研修「愛知県美術館鑑賞学習補助ツール『あいパック』の説明」愛知芸術文化センター　2013年８月23日
・（発表）シンポジウム　地域と美術館をつなぐ～美術を通した学びから～「教育現場への鑑賞教育と普及」愛知芸術文化センター
（発表）パネルディスカッション　美術教育を軸とした地域と美術館の連携「地域に根ざした美術館活動をめざして」2014年１月13日
・（編集）作家作品解説「あいパックプラスガイド」『愛知県美術館鑑賞学習補助ツール あいパックプラス』2014年３月
・（企画）『視覚障がい者向け鑑賞補助ツール 立体絵画 瑛九《黄色い花》熊谷守一《たまご》』2014年３月
・（編集）報告書『愛知県鑑賞学習普及事業　子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～地域に根ざした美術館活動をめざして』2014年３月

○森美樹

・鑑賞カード「（一般向け・小学生低学年向け・小学生高学年向け）ポール・ゴーギャン《海岸の岩》《木靴職人》」2014年３月

○副田一穂

・（鑑賞カード）「（一般向け）フェルナン・レジェ《緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）》」2014年３月

作品の保存等に関すること

○村田眞宏

・（発表）「IPMは日常のことに―これまで、いま、そしてこれから―」『公開シンポジウム 市民と共に ミュージアムIPM』一橋講堂　2013年10月12日

○村田眞宏・長屋菜津子

・（研究協力）平成24年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業「市民と共に目指すミュージアムIPM」

○長屋菜津子

・（発表）「愛知県美術館のIPMとサポート組織」『公開シンポジウム 市民と共に ミュージアムIPM』一橋講堂　2013年10月12日
・（発表）「身近なところから学ぶ温湿度」『ミュージアムIPM支援者研修（技術編）』九州国立博物館　2013年11月11日
・（発表）「施設と環境に応じた施設管理」『第３回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会』（文化財虫菌害研究所主催）九州国立博物館　2013年12月18日
・「施設と環境に応じた施設管理」『第３回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会テキスト』文化財虫菌害研究所　2013年11月

あいちトリエンナーレに関すること

○村田眞宏

・（発表）あいちトリエンナーレ2013パブリックプログラム『大震災と文化財―場所、記憶、そして…』2013年10月19日　愛知芸術文化センター・アートスペースA
・「特集：震災とミュージアム」『芸術批評誌REAR』31号　2014年２月

○大島徹也

・（発表）「石巻と高橋英吉」あいちトリエンナーレ2013パブリックプログラム『大震災と文化財―場所、記憶、そして…』愛知芸術文化センター・アートスペースA　2013年10月19日
・「石巻と高橋英吉」『芸術批評誌REAR』31号　2014年２月

○中村史子、塩津青夏

・作家作品解説『あいちトリエンナーレ2013 揺れる大地―われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活』図録　2013年10月

○副田一穂

・作家作品解説「横山裕一」『あいちトリエンナーレ2013 揺れる大地―われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活』図録　2013年10月

・（対談）「Salon de NAKAYOSI 5　山下拓也×副田一穂」VISITOR CENTER AND STAND CAFE　2014年10月

○塩津青夏

・（講座）「はじめてアート講座2013 トリエンナーレ出品作家紹介」愛知芸術文化センター・アートスペースA　2013年7月

・作家作品解説『あいちトリエンナーレ2013 揺れる大地―われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活』図録　2013年10月

その他

○高橋秀治

・「REVIEW 三井園子展」『芸術批評誌REAR』30号　2013年8月

○深山孝彰

・（研究発表）「戸張孤雁の版画創作活動について」『第12回版画史研究会』日本教育会館会議室　2013年11月16日

○大島徹也

・（研究発表）“Jackson Pollock: Art of Line as Non-Line,” *International Conference: SEN, On Lines and Non-Lines,* The University of Tokyo, 21 September 2013

・（研究発表）「ポロックをポロックとして見る―ジャクソン・ポロックのオールオーヴァーのポード絵画」『第37回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「かたち」再考―開かれた語りのために』東京文化財研究所　2014年1月11日

・作家作品解説「佐藤香菜」『VOCA展2014　現代美術の展望――新しい平面の作家たち』、「VOCA展」実行委員会・上野の森美術館編「VOCA展」実行委員会・上野の森美術館　2014年

・「ジャクソン・ポロック―『線ならぬ線』の芸術」『愛知県美術館研究紀要』20号　2014年3月

○村瀬可奈

・（研究発表）「勝川春章筆《美人鑑賞図》の制作背景―先行図様と実景を中心に―」『第66回 美術史学会全国大会』関西大学　2013年5月11日

・「発表要旨　勝川春章筆《美人鑑賞図》の制作背景―先行図様と実景を中心に―」『美術史』175号　2013年10月

○中村史子

・作家推薦および作家作品解説「アートコートフロンティア2013」アートコートギャラリー　2013年7月

・「REVIEW 水野勝規展―monologue」『芸術批評誌REAR』30号　2013年8月

・「さわひらき展レビュー 箱と映像と私の在りか」『美術手帖 vol.66　No.1002』4月号　2014年4月

○副田一穂

・（対談）「Salon de NAKAYOSI 3　森功次×副田一穂」VISITOR CENTER AND STAND CAFE　2014年9月

・「REVIEW ドールズ・コレクション 時をかける等身大人形―細工人形・菊人形からマネキン・フィギュア・ロボットまで―」『芸術批評誌REAR』31号　2014年2月

・「バルテュスはシュルレアリストではない、だが…」『ユリイカ』2014年4月号　2014年3月

○塩津青夏

・（対談）「Salon de NAKAYOSI 7　下道基之×塩津青夏」VISITOR CENTER AND STAND CAFÉ　2013年10月

防　　災

2013（平成25）年度の防災の取組状況

1　館内の体制

⑴　防災担当

平成24年度より、従来の１名体制から３名体制（正担当１名、副担当２名）に変更したが、平成25年度はその３名体制の中で、来館者等の「人」に対する正担当１名及び副担当１名、作品等の「物」に対する正担当1名の体制に改め、担当内容を区分し明確化した。

⑵　内容とその方法

ａ　「人」に対する防災体制

平成24年度に作成した案内監視員用の退館誘導マニュアルに加えて、平成25年度は案内監視員用の避難誘導マニュアル、東海地震発生時の美術館職員行動マニュアル（大規模地震共通）を作成した。またそれらを利用して、平成23年度から引き続き、愛知芸術文化センターの防災訓練時に避難誘導のブラインドトレーニング（参加者は必要最低限の情報しか与えられておらず、それ以上の判断はその場で行って行動するという条件での訓練）を行った。

ｂ　「物」に対する防災体制

急務である「人」に対する防災体制への取り組みを優先し、「物」に対する防災体制への取り組みは平成26年度に先送りした。

2　愛知芸術文化センターの防災体制

⑴　愛知芸術文化センター防災会議

平成24年度、センター内の各セクションの担当者が集まる愛知芸術文化センター防災会議が設置された。平成25年度は、下記⑵の防災訓練と連動して、退館誘導や避難誘導時に発生すると想定される問題や、平成26年度の指定管理者制度導入（美術館を除く）後のセンター全体での連携体制等について議論した。

⑵　防災訓練

前期に１回（劇場対象）、後期に１回（美術館対象）実施した。美術館を対象とした回では、震度６強の東海地震が発生したという設定で、来館者の避難誘導の訓練を行った。

3　愛知県の危機管理体制

平成24年度に愛知芸術文化センターがボトルネックとして指摘した「愛知県の文化財に対する危機管理体制」の問題が県全体の防災計画の中でどのように扱われることになるのか、愛知芸術文化センター防災会議で議論しつつ、全体の動きを注意深く見守った。また、それに関連して愛知県教育委員会との連携も模索した。

4　東日本大震災に関すること

⑴　全国美術館会議東日本大震災復興対策委員会及び救援・支援対策本部への参加

平成23年度、東日本大震災復興対策委員会と対策本部（のちに「救援・支援対策本部」と改称）が全国美術館会議内に設置された。設置当初より前者の副委員長を当館館長が、及び平成24年度より後者の委員を当館学芸員1名が務め、全国美術館会議による復興対策活動に参画している。

⑵　『全国美術館会議東日本大震災文化財レスキュー事業記録集』の編集

平成24年度、全国美術館会議東日本大震災救援・支援対策本部のもとに東日本大震災文化財レスキュー事業記録集分科会が設置され、その幹事を当館学芸員1名が務めている。同分科会は『全国美術館会議東日本大震災文化財レスキュー事業記録集』の編集を現在まで進めてきている。この記録集は、全国美術館会議の文化財レスキュー事業をドキュメントとして残し、今後の災害対策に資することを目的としたものである。

⑶　全国美術館会議東日本大震災美術館・博物館総合調査への参加

平成24年度、全国美術館会議東日本大震災救援・支援対策本部のもとに東日本大震災美術館・博物館総合調査分科会が設置された。平成25年度、同分科会が行う調査に、当館学芸員1名が参加した。この調査は、東日本大震災によって美術館・博物館が受けた被害と影響を総合的に調査、分析、記録して『全国美術館会議東日本大震災美術館・博物館 総合調査報告』を作成し、今後の災害対策に資することを目的としたものである（平成26年５月20日刊行）。

⑷　文化財レスキューへの参加

月　日：2013年10月29日（火）、30日（水）、31日（木）
参加者：高橋秀治（副館長）
場　所：福島県双葉町
　　歴史民俗資料館
内　容：相馬市へ資料搬出

4　その他

⑴　全国美術館会議東海ブロック本部館としての活動

平成23年度から引き続き、平成25年度も全国美術館会議の「大災害時における連絡網実施要領」に基づく東海ブロック内での連絡訓練を、同ブロック本部館である当館が中心になって３月11日に実施した。

⑵　愛知県博物館協会としての活動

平成23年度以降、被災時に愛知県博物館協会として迅速かつ円滑に県内の被災館を救援できるネットワーク作りを進めている。平成25年度は、愛知県博物館協会の実行委員に対し当館から「災害発生時における支援活動実施要領暫定版」を提示し、平成26年度理事会での承認に向け、さまざまな問題点の洗い出しを行った（平成26年６月25日承認）。

ギャラリー（貸館）

美術館ギャラリー利用状況（2013(平成25)年度）

1　展示室利用状況

（単位：日数）

区分／月別	利用可能日数 a	利用日数 b	利用率 b／a	展示室別利用日数											
				A室	B室	C室	D室	E室	F室	G室	H室	I室	J室	審査保管室	
														第1	第2
1	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	14	14
2	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	7	20
3	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	20	23
4	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	17	28
5	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	13	8
6	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	10	20
7	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	27	23
8	29	29	100.0	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	31	31
9	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	30	30
10	29	29	100.0	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	31	31
11	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	11	23
12	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	23	14
計	301	301	100.0											234	265

2　展覧会種別利用状況及び入場者数

区分／月別	展覧会種別利用件数（件）									入場者数（人）
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計	
25年1月	4	2	1	1	3	1	1	0	13	50,532
2月	6	0	0	1	2	0	0	0	9	67,262
3月	6	6	0	1	8	1	1	0	23	40,657
4月	6	10	1	2	6	0	0	0	25	51,981
5月	10	4	1	3	2	0	2	1	23	47,617
6月	5	5	0	0	8	0	3	0	21	48,201
7月	10	4	0	0	0	0	2	0	16	43,275
8月	1	0	0	0	0	0	0	0	1	46,283
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,001
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63,272
11月	7	5	0	1	3	1	0	0	17	38,689
12月	6	5	0	0	5	2	1	1	20	37,244
計	61	41	3	9	37	5	10	2	168	586,014

備考　1　利用件数は、展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は、当該月で整理してある。

2　あいちトリエンナーレ2013（会期　8月10日～10月27日）の開催を1件と整理し、入場者は、当該月で整理してある。

利用団体一覧（2013（平成25）年度）

平成25年展示室利用スケジュール（上半期）

| 月 | 平成24年12月 | | | | | | | 1月 | | | | | | |

平成25年展示室利用スケジュール（下半期）

組織および職員構成

1　組織図

2014 年 3 月31日現在

2　愛知県美術館職員名簿

館長	村田眞宏	主任（学芸員）	中村史子
副館長	高橋秀治	技師（学芸員）	副田一穂
企画業務課長	古田浩俊	技師（学芸員）	中西園子
課長補佐	長尾弘子	美術課長	深山孝彰
主任主査	藤弘幸	主任学芸員	長屋菜津子
主事	西原全代	主任学芸員	大島徹也
主事	臼井幸夫	主任（学芸員）	石﨑尚
主事	山本哲也	技師（学芸員）	塩津青夏
主任学芸員	藤島美菜	臨時任用（学芸員）	村瀬可奈
主任（学芸員）	森美樹		

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

平成26年3月31日

氏　　名	所　　属
○ 江　本　菜穂子	名古屋造形大学教授
亀　山　敏　一	日本放送協会名古屋放送局事業部長
川　村　則　夫	愛知県立旭丘高等学校長
黒　田　亮　子	美術評論家
小　林　克　敏	愛知県美術館友の会会長
野々川　房　子	日本メナード化粧品（株）常務取締役 （メナード美術館アート・プロデューサー）
古　川　秀　昭	岐阜県美術館長
松　永　恒　裕	名古屋市美術館長
◎ 松　村　公　嗣	愛知県立芸術大学長
三　浦　定　俊	財団法人文化財虫害研究所理事長

◎は委員長、○は委員長代理　　（50音順）

劇場・ギャラリー専門委員会ギャラリー部会委員名簿

平成26年3月31日

氏　　名	職名・団体名及び役職
安　藤　滴　水	書家・中部日本書道会名誉副会長
◎ 神　谷　　浩	名古屋市博物館副館長
斎　藤　吾　朗	洋画家・独立美術協会会員
鈴　木　滋　夫	公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
高　北　幸　矢	清須市はるひ美術館長
仲　野　泰　裕	愛知県陶磁美術館副館長
山　田　美佐子	稲沢市荻須記念美術館長

◎は部会長　　（50音順）

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

平成26年3月31日

氏　　名	職　　名（所　　属）
尾　崎　正　明	美術評論家（日本近代美術）
◎ 黒　田　亮　子	美術評論家（西洋美術、日本近代美術）
田　中　　淳	東京文化財研究所企画情報部長（日本近・現代美術）
村　上　博　哉	国立西洋美術館副館長兼学芸課長（西洋美術）
吉　田　俊　英	豊田市美術館長（日本近世・近代美術）

◎は委員長　　（50音順）

愛知県美術館年報2013年度版

2014（平成26）年12月発行

編集　愛知県美術館

発行　愛知県美術館
名古屋市東区東桜1-13-2
〒461-8525
Phone：052-971-5511
Fax：052-971-5604

表紙デザイン・本文レイアウト　日本印刷（株）

印刷　日本印刷（株）

Annual Report 2013, Aichi Prefectural Museum of Art
Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art
Published by the Aichi Prefectural Museum of Art
1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525 JAPAN
Designed and layout by Nippon Printing Co., LTD
Printed by Nippon Printing Co., LTD

©2014 Aichi Prefectural Museum of Art

Printed in JAPAN